

令和7年度（2025年度）

学習のてびき

※通信制課程で学ぶ際の手続きや学習を進める際のルールなど、重要事項を掲載しています。



島根県立浜田高等学校 通信制課程

〒 697-8789 島根県浜田市黒川町3749

TEL (0855) 22-0187

FAX (0855) 22-2549

教科担当、ルーム担任への電話は、午前9時から午後4時30分までにかけてください。
金曜日は、教員が振替休日になっていることがあります。（「年間行事予定」（P10～11）を参照）
学校の電話番号は、電話帳に登録してください。
学校から着信があったときは、折り返し電話をしてください。
電話をかけるときは、通信制、ルーム名、氏名を名乗ってください。

島根県立浜田高等学校

校歌

作詞 木島俊太郎
作曲 伊玖磨

一、 豊栄昇る朝日に映えて
石見の海にたぎる潮
青春の意気今高らかに
若きをのこよたくましく
狂瀾碎く力もて
進めよ共にたじろがず

二、 夕月匂う浜田川
やさしさ情操ここに育つ
青春の夢今美しく
若きをみなよひとすちに
正義と愛の理想追ひ
磨けよ珠と此の精神

三、 緑ほほえむ三階山
春秋三とせ仰ぐわれら
青春の眉今清らかに
若きいのちよ肅然と
真理の前につつましく
学べよ深く明らかに

は じ め に

【通信制課程のみなさんへ】

通信制課程のみなさんに「学習のてびき」をお届けします。

これは浜田高等学校通信制課程で学ぶための案内書です。このてびきを丁寧に読んで、通信制課程の生徒として、しっかり学習を進めてください。

通信制課程は自学自習が基本です。登校して直接指導を受ける機会が少ないため、計画的かつ効果的に学習を進めるには、この「学習のてびき」の内容を十分に理解しておくことが大切です。このてびきを活用し、学習や諸手続に間違いや遅れのないようにしてください。

学習を進めるためには、強い意志とたゆまぬ努力が必要です。中途半端な気持ちで始めたのでは、最後までやり遂げられるものではありません。このことを肝に銘じて取り組んでください。最後まで学習を継続し、卒業を迎えたときには、まさしく「本物の力」を自ら勝ち得たと実感できるでしょう。

通信制課程で高校の学習を始めようとした動機や目的は、人により様々だと思いますが、初志貫徹し、無事に卒業の日を迎えられることを願っています。

< 目 次 >

§1 生徒(保護者)の皆さんへの連絡方法、ホームページの活用	
メール配信システムによる連絡網登録のお願い	1
Google Workspace for Education の利用登録	2
ホームページ	2
§2 本校の通信制課程	3
入学から卒業まで	5
教育課程表(令和6年度から)	6
令和7年度 開講講座一覧表	7
通信制課程以外での学修の成果	8
§3 受講手続き(「受講指導」⇒「受講登録」)	9
§4 年間行事予定	10
学校行事の内容	12
§5 教科・科目の学習	
通信制課程での学習の進め方	14
レポート(添削指導)	15
レポート配付日・発送日・しめきり日一覧	17
スクーリング(面接指導)	19
スクーリング計画表(スクーリング時程表 外)	22
学習進捗状況	24
放送視聴学習(NHK「高校講座」外)	25
試験(受験資格、受験手続き、受験上の注意 外)	30
§6 特別活動(特活)	32
令和7年度特別活動年間計画	33
§7 学校生活の心得 外	
学校生活のルールマナー	35
図書学習室の利用、進路指導室の利用、保健室の利用	36
スクールカウンセラー等への相談	36
通学方法(車両通行証)	37
感染症による出席停止(出校停止)	38
独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」	38
§8 通信制の学習及び生活 Q&A	
レポート、スクーリング、試験、放送視聴学習、単位認定、学校生活 外	39
§9 通信制課程生徒への教育費助成等	
教科書・学習書の給付補助、郵便料金の軽減、奨学金制度	43
学割証 外	43
§10 事務的な手続き	
氏名・住所変更届 外	44
生徒証	44
各証明書等の交付	44
校舎配置図	45
通行経路	46
住所・氏名・連絡先 変更届	

§1 生徒(保護者)の皆さんへの連絡方法、ホームページの活用

メール配信システムによる連絡網 登録のお願い

- ・本校では、一斉連絡システム「e-メッセージ」を利用しています。
- ・特に、毎日学校に来ることのない通信制の生徒・保護者の皆さんにとっては重要な連絡手段となります。
- ・天候等による急な時間割変更等、一斉連絡システムを利用することがありますので、まだ登録が済んでいない方は、ぜひ登録してください。なお、登録された個人情報、管理者からの配信以外に使用いたしません。

登録方法	
スマートフォンやタブレットのアプリを利用する方	フィーチャーフォンの方 / アプリの利用を希望しない方
- 初めて「e-メッセージ」アプリを利用する場合 アプリストア（App Store / Google Play）で「e-メッセージ」と検索、もしくは以下の QR コードにアクセスし、アプリをインストールしてください。インストール後、画面の案内に沿ってご登録ください。  アプリのアイコン - 「e-メッセージ」アプリをインストール済みの場合 「e-メッセージ」アプリを開き、以下のメニューからご登録ください。 メニュー > 登録情報 > 追加	以下の URL にアクセスいただき、画面の案内に沿ってご登録ください。 https://web.e-msg.jp/ent/ ※既に他の団体、もしくは他のお子様などが登録済みの場合はメール認証後、登録情報一覧が表示されますので、「追加」ボタンから登録の追加を行なってください。 ※セキュリティ上、フィーチャーフォンからはアクセスいただけません。フィーチャーフォンをご利用の方はパソコンなどからアクセスいただきメールアドレス入力欄にフィーチャーフォンのメールアドレスを入力してご登録いただくか、フリーダイヤルにお問合せください。

※登録方法については、
ホームページにも載せてあります。



島根県立浜田高等学校 定時制・通信制課程

Shimane Prefectural Hamada High School / Part-time course / Correspondence course

学校紹介

定時制課程

通信制課程

各種証明書・奨学金

アクセス・お問い合わせ

新着情報 TOPICS

すべて 定時制 通信制

2025.01.08 定時制 令和6年度3学期始業式

2024.12.25 定時制 表彰式及び令和6年度2学期終業式

2024.12.13 共通 学校図書発表

2024.12.12 共通 感謝状をいただきました

2024.11.20 定時制 令和7年度定時制入学案内を掲載しました

定時制課程

通信制課程

年間行事予定

MAIL

メール配信システム

Google Workspace for Education (Google Classroom 等)の利用登録のお願い

- ・ICTを活用した連絡や学びを進めていくため、Google Workspace for Education を利用しています。
- ・通信制課程では、自宅のパソコンやタブレット、スマートフォン等の情報端末を使って、各教科からの連絡や特別活動への参加申し込み等で利用します。
- ・生徒アカウント管理での生徒氏名の利用と、自宅で契約されているインターネット回線を利用させていただくため、承諾書の提出をお願いします。
- ・既に登録が済んでいる人は、再度登録する必要はありません。

※ 令和7年度より、前期・後期の試験の申込みは Google Forms から行うことになりました。
年度初めに学校から個別に配布される生徒アカウント★で、招待をうけた自分が所属するルームや、受講した科目のクラスルームに参加をしてください。(★全校集会の日に配布されます)

※ 各自に配布された生徒アカウントで学校のパソコン教室の Chromebook を利用することも可能です。

ホームページ

大切なお知らせや、日々の活動の様子、時間割や各教科のシラバス等もこちらから見ることができます。



(ホームページのQRコード)



島根県立浜田高等学校 通信制課程
Shimane Prefectural Hamada High School Correspondence course

定時制・通信制
総合トップ >

通信制課程について
▼

時間割
▼

亀山通信
▼

行事カレンダー
▼

活動報告
▼

進路状況
▼

入学のご案内
▼

🔍

通信制課程について
▼

学習支援 (参考動画など)

シラバス
一覧

学習のてびき

NHK高校講座の活用 (視聴する学習会)を行いました
聴報告)

2024.10.07 後期全校集会を行いました

2024.10.01 令和6年度 通信制課程 後期入学式を行いました

学校紹介 >

定時制課程 >

各種証明書・奨学金 >

アクセス・お問い合わせ >

行事カレンダー CALENDER

§2 本校の通信制課程

- ①教科書・学習書による自学自習などによって、講座ごとに定められた回数のレポートを作成・提出し、添削指導を受けることが中心になります。また、定められた回数の面接指導（スクーリング）を受けることも必要です。
- ②講座ごとの学習内容は「シラバス」（ホームページに掲載）に、レポート回数、最低限受けなければならない面接指導（スクーリング）時間数などは、「令和7年度 開講講座一覧表」（P7）に示してあります。
- ③総合的な探究の時間を除いて年に2回（前期・後期）試験があります。
- ④講座ごとに定められた受験資格の条件を満たすと試験を受験することができます。
- ⑤実行可能な学習計画を立て、計画的に学習を進めていくことが大切です。

1 学 科

普 通 科

2 在籍年数

- ・本校の通信制課程は、3年で卒業することが可能です。
- ・病気による休学などやむを得ない事情により3年間で卒業できない場合は、引き続き在籍が認められます。ただし、10年間で卒業に必要な単位を修得できない場合、またはその可能性が高くなった場合は、引き続き在籍することはできません。
- ・転入生及び編入生は、前籍校での在籍期間も本校の規定に従って在籍期間に含みますので、注意が必要です。

3 教育課程（P6 参照）

◎「**必修科目**」と○「**選択科目**」があります。

4 特別活動（P33～34 参照）

「学校行事」、「ホームルーム（HR）」、「ショートホームルーム（SHR）」、「生徒会活動」があります。

5 単位認定

「単位」とは学習する量のこと、通信制課程においては「令和7年度 開講講座一覧表」（P7）のとおり前期・後期、講座ごとにレポート回数、面接指導（スクーリング）時間数が定められています。

（1）通信制課程での履修認定と単位認定

ア 履修認定

次の条件を満たしたとき、その講座の履修が認定されます。

（ア）講座ごとに定められたレポートを提出し、合格していること

（イ）講座ごとに定められた時間数以上の面接指導（スクーリング）に出席していること

イ 単位認定

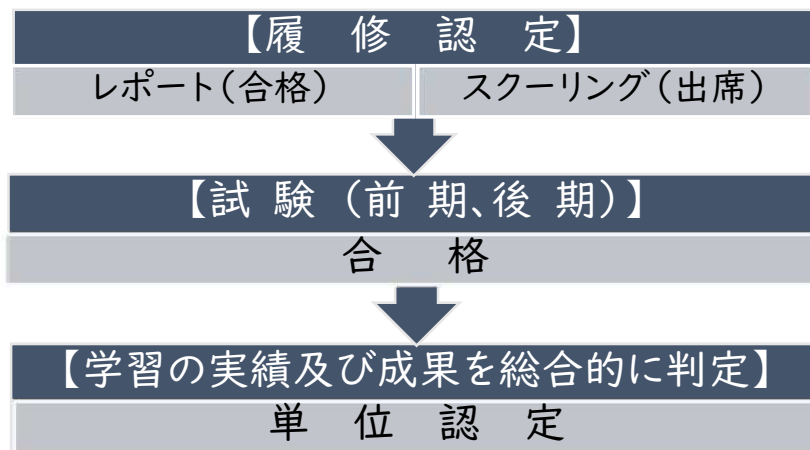
「履修認定」の条件を満たし、試験を受け、それらの成績を総合評価して「学習の実績及び成果が各教科・科目の目標からみて十分である」と認められると単位認定されます。

ただし、「総合的な探究の時間」は上記「履修認定」の条件を満たし「学習の成果が教科・科目の目標からみて十分である」と認められると単位認定されます。

ウ 認定時期

単位の認定は、半期ごと（前期試験終了後及び後期試験終了後）に行います。

なお、総合的な探究の時間の単位認定は年度末に行うため、1年を通して学習が完了していないと単位の認定はされません。



エ 評 定

学習が完了すると、学習の成果を評価します。

- ・提出されたレポートの採点を評点といいます。
- ・5段階で算出したものを評定といいます。
- ・単位を修得した場合、5を最高に以下4、3、2の評定がつきます。
- ・単位を修得できない場合でも、履修が認定されると1の評定がつきます。
- ・評定は、進学や就職の際、高校における学習状況の資料として、「調査書」に記載されます。

(2) 通信制課程以外での学修の成果による単位認定

P8～9 のとおりです。

(3) 認定単位の上限

1年間に認定できる単位数(通信制課程以外での学修の成果による単位認定を含む)は、修得単位のない生徒は24単位まで、修得単位のある生徒は30単位までです。

6 卒 業

次の条件がすべて満たされ、校長が適当と認めた場合に卒業を認定します。

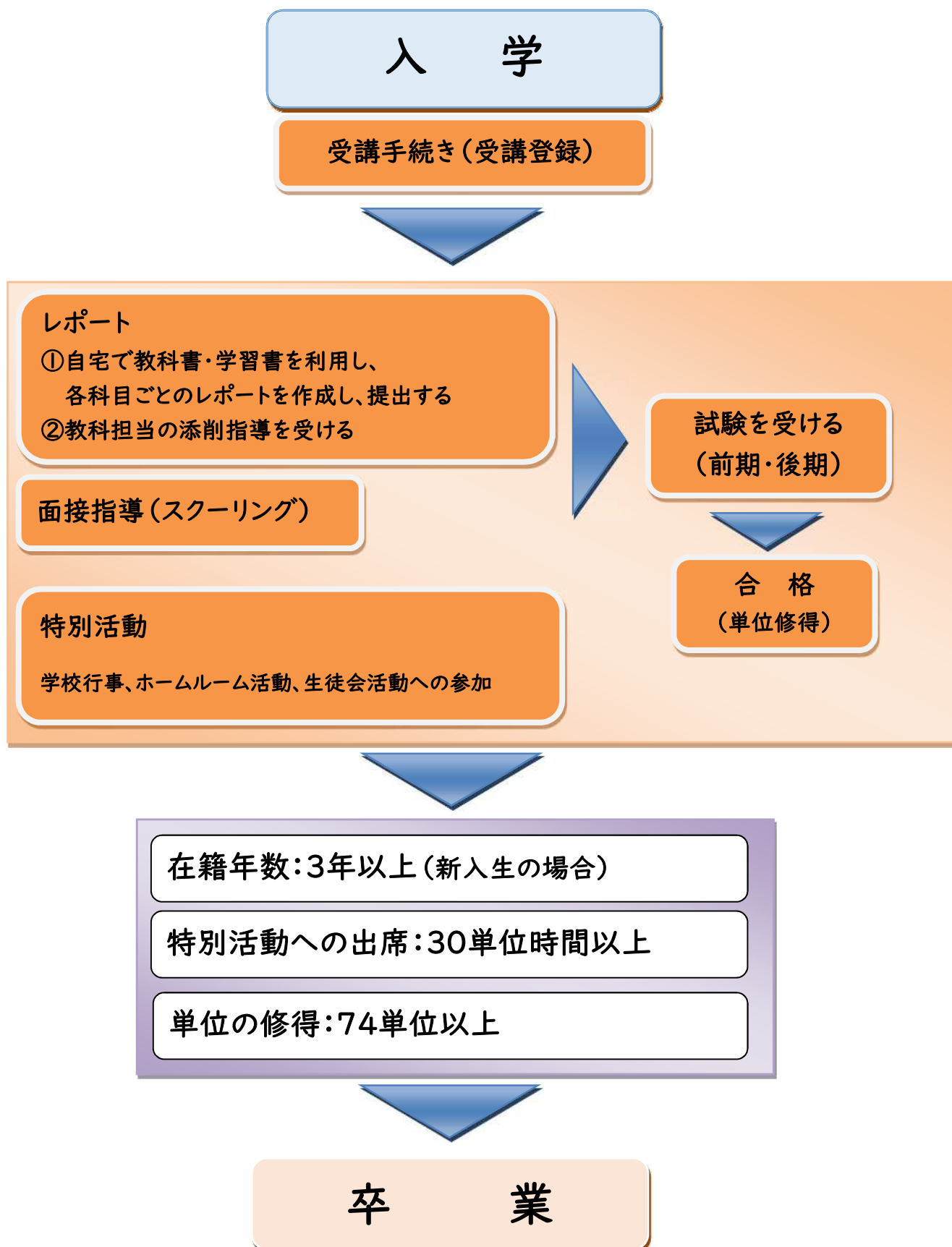
(1) 在 籍 期 間	3年以上通信教育を受けていること(新入生の場合)
(2) 教 科 ・ 科 目	必修科目をすべて履修していること
(3) 総合的な探究の時間	3単位以上履修していること
(4) 修 得 単 位	74単位以上修得していること
(5) 特 別 活 動	30単位時間以上履修していること
(6) そ の 他	入学後、卒業するために修得しなければならない単位数のうち、3分の2以上を通信制課程で修得していること 転入生及び編入生は、本課程で10単位以上の科目(「総合的な探究の時間」を含む)を履修していること

<転入生及び編入生>

- ・前籍校での在籍期間も、本校の規定に従って卒業に必要な在籍期間に含みます。
- ・前籍校で修得した科目の単位は、本校の規定に従って単位を認定します。
- ・前籍校での活動状況(修得単位数)に応じて、特別活動の単位時間数を認定します。

入学から卒業まで

入学から卒業まで、自分のペースに合わせて学べます。



教育課程表

課 程							学 科				
通 信 制							普 通 科				
教 科 ・ 科 目		単 位 数			主な学習開始年次			履修形態	履修単位数		備 考
教 科	科 目	標 準 単 位 数	必 履 修 科 目	選 択 科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次		前 期	後 期	
国 語	現 代 の 国 語	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「文学国語」「古典探究」は、「現代の国語」「言語文化」を履修した後に選択できる。
	言 語 文 化	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
	文 学 国 語	4		4		○		前期・後期分割	2	2	
	古 典 探 究	4		4		○		前期・後期分割	2	2	
地理歴史	地 理 総 合	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「地理探究」は「地理総合」を、「日本史探究」「世界史探究」は「歴史総合」を履修した後に選択できる。
	地 理 探 究	3		3		○		前期・後期分割	2	1	
	歴 史 総 合	2	2			◎		前期・後期分割	1	1	
	日 本 史 探 究	3		3			○	前期・後期分割	1	2	
	世 界 史 探 究	3		3			○	前期・後期分割	2	1	
公 民	公 共 (a)	2	2		◎			前期または後期	1	1	・(a)、(b)の同時履修可。履修順は問わない。 ・「政治・経済」は、「公共」を履修した後に選択できる。
	公 共 (b)								1	1	
	政 治 ・ 経 済 (a)	1	2		○		前期または後期	1	1		
	政 治 ・ 経 済 (b)	1						1	1		
数 学	数 学 入 門 (1)	学校 設定 科目		2	○			前期または後期	1	1	・「数学入門」は学校設定科目であり、「数学Ⅰ」を履修する前においてのみ選択できる。 ・「数学Ⅱ」は、「数学Ⅰ」を履修した後に選択できる。 ・「数学A」は、「数学Ⅰ」と平行して、あるいは「数学Ⅰ」を履修した後に選択できる。
	数 学 入 門 (2)								1	1	
	数 学 Ⅰ (1)	3	3		◎			前期または後期	1	1	
	数 学 Ⅰ (2)								2	2	
	数 学 Ⅱ	4		4			○	前期・後期分割	2	2	
	数 学 A	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・選択アで「科学と人間生活」を選択した生徒は、選択イで、「基礎」を付した科目のうち、必ず1科目以上履修する。 ・選択アで「基礎」を付した科目を選択した生徒は、選択イで別の「基礎」を付した科目を2科目選択する。
	物 理 基 礎	2	2		◎	◎		前期・後期分割	1	1	
	化 学 基 礎	2	2		◎	◎		前期・後期分割	1	1	
	生 物 基 礎	2	2		◎	◎		前期・後期分割	1	1	
保健体育	体 育 (体 育 1)	7～8	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「体育1」を履修した後に「体育2」を履修する。 ・「体育3」、「体育4」、「体育5」は、「体育2」を履修した後に履修する。 ・「体育4」、「体育5」の両方か、「体育3」を選択して履修する。
	体 育 (体 育 2)		2			◎		前期・後期分割	1	1	
	体 育 (体 育 3)		3				◎	前期・後期分割	2	1	
	体 育 (体 育 4)		2			○		前期・後期分割	1	1	
	体 育 (体 育 5)		2				○	前期・後期分割	1	1	
	保 健	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
芸 術	美 術 Ⅰ	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「Ⅰ」を付した科目のうち、必ず1科目以上履修する。 ・「Ⅱ」を付した科目はそれぞれに対応する「Ⅰ」を付した科目を履修した後に選択できる。
	美 術 Ⅱ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
	書 道 Ⅰ	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
	書 道 Ⅱ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
外国語	英 語 入 門 (1)	学校 設定 科目		2	○			前期または後期	1	1	・「英語入門」は学校設定科目であり、「英語コミュニケーションⅠ」を履修する前においてのみ選択できる。 ・「英語コミュニケーションⅡ」は、「英語コミュニケーションⅠ」を履修した後に選択できる。 ・「英語入門」以外の科目については、前期始まりのみ開講する。
	英 語 入 門 (2)								1	1	
	英語コミュニケーションⅠ	3	3		◎			前期・後期分割	1	2	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4			○	前期・後期分割	2	2	
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
家 庭	家 庭 総 合	4	4		◎			前期・後期分割	2	2	
情 報	情 報 Ⅰ	2	2			◎		前期・後期分割	1	1	
共通科目 単位数 計		37単位以上									
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2～4		3		○		前期・後期分割	1	2	・単位をもっている生徒が履修できる。 ・商業の専門科目については前期始まりのみ開講する。
	簿 記	2～4		4			○	前期・後期分割	2	2	
	情 報 処 理	2～4		4		○		前期・後期分割	2	2	
家 庭	消 費 生 活	2～4		3		○		前期・後期分割	2	1	・家庭の専門科目については、「家庭総合」を履修した後に選択できる。
	保 育 基 礎	2～6		4			○	前期・後期分割	2	2	
	服 飾 文 化	2～4		2			○	前期・後期分割	1	1	
専門科目 単位数 計		0単位以上 20単位以下									
総合的な探究の時間		3～6	3			◎		通年	3		・単位をもっている生徒が履修できる。
特 別 活 動		30単位 時間以上	卒業までに30単位時間以上								
単位数 計		74単位以上									
学校設定科目 単位数 計		0単位以上 4単位以下									

(1) 「主な学習開始年次」の ◎は『必修科目』を表し、○は『選択科目』を表す。

(2) 「履修形態」の『前期・後期分割』は、履修単位を前期と後期に分割して履修することを意味する。単位認定は前期・後期の終了時に行う。

(3) 「履修形態」の『前期または後期』は、前期と後期を同時に開講し、どちらか1つまたは一度にまとめて履修する事を意味する。

なお、(a)、(b)は同時履修可。履修順は問わない。(1)、(2)は数字の順に履修する。単位認定は前期または後期の終了時に行う。

(4) この教育課程は、令和6年度から適用する。

令和7年度 開講講座一覧表

< 前 期 >						< 後 期 >					
教科名	講 座 名	単 位 数	レ ポ ー ト 回 数	面 接 時 間 数	試 験 期	教科名	講 座 名	単 位 数	レ ポ ー ト 回 数	面 接 時 間 数	試 験 期
国語	現代の国語(前)	1	3	2	あり 9月 末	国語	現代の国語(後)	1	3	2	あり 2月 末
	言語文化(前)	1	3	2			言語文化(後)	1	3	2	
	文学国語(前)	2	6	2			文学国語(後)	2	6	2	
	古典探究(前)	2	6	2			古典探究(後)	2	6	2	
地理 歴史	地理総合(前)	1	3	2		地理 歴史	地理総合(後)	1	3	2	
	地理探究(前)	2	6	2			地理探究(後)	1	3	2	
	歴史総合(前)	1	3	2			歴史総合(後)	1	3	2	
	日本史探究(前)	1	3	2			日本史探究(後)	2	6	2	
	世界史探究(前)	2	6	2			世界史探究(後)	1	3	2	
公民	公共(a)	1	3	2		公民	公共(a)	1	3	2	
	公共(b)	1	3	2			公共(b)	1	3	2	
	政治・経済(a)	1	3	2			政治・経済(a)	1	3	2	
	政治・経済(b)	1	3	2			政治・経済(b)	1	3	2	
数学	数学入門(1)	1	3	2		数学	数学入門(1)	1	3	2	
	数学入門(2)	1	3	2			数学入門(2)	1	3	2	
	数学Ⅰ(1)	1	3	2			数学Ⅰ(1)	1	3	2	
	数学Ⅰ(2)	2	6	2			数学Ⅰ(2)	2	6	2	
	数学Ⅱ(前)	2	6	2			数学Ⅱ(後)	2	6	2	
	数学A(前)	1	3	2			数学A(後)	1	4	2	
理科	科学と人間生活(前)	1	3	4		理科	科学と人間生活(後)	1	3	4	
	物理基礎(前)	1	3	4			物理基礎(後)	1	3	4	
	化学基礎(前)	1	3	4			化学基礎(後)	1	3	4	
	生物基礎(前)	1	3	4			生物基礎(後)	1	3	4	
保健 体育	体育Ⅰ(前)	1	1	5		保健 体育	体育Ⅰ(後)	1	1	5	
	体育2(前)	1	1	5			体育2(後)	1	1	5	
	体育3(前)	2	2	10			体育3(後)	1	1	5	
	体育4(前)	1	1	5			体育4(後)	1	1	5	
	体育5(前)	1	1	5			体育5(後)	1	1	5	
	保健(前)	1	3	1			保健(後)	1	3	1	
芸術	美術Ⅰ(前)	1	3	4		芸術	美術Ⅰ(後)	1	3	4	
	美術Ⅱ(前)	1	3	4			美術Ⅱ(後)	1	3	4	
	書道Ⅰ(前)	1	3	4			書道Ⅰ(後)	1	3	4	
	書道Ⅱ(前)	1	3	4			書道Ⅱ(後)	1	3	4	
外国語	英語入門(1)	1	3	4		外国語	英語入門(1)	1	3	4	
	英語入門(2)	1	3	4			英語入門(2)	1	3	4	
	英語コミュニケーションⅠ(前)	1	3	4			英語コミュニケーションⅠ(後)	2	6	8	
	英語コミュニケーションⅡ(前)	2	6	8			英語コミュニケーションⅡ(後)	2	6	8	
	論理・表現Ⅰ(前)	1	3	4			論理・表現Ⅰ(後)	1	3	4	
家庭	家庭総合(前)	2	4	4		家庭	家庭総合(後)	2	4	4	
情報	情報Ⅰ(前)	1	3	2		情報	情報Ⅰ(後)	1	3	2	
(専門) 商業	ビジネス基礎(前)	1	2	3		(専門) 商業	ビジネス基礎(後)	2	4	4	
	簿記(前)	2	4	4			簿記(後)	2	4	4	
	情報処理(前)	2	4	7			情報処理(後)	2	5	7	
(専門) 家庭	消費生活(前)	2	4	4		(専門) 家庭	消費生活(後)	1	2	2	
	保育基礎(前)	2	4	4			保育基礎(後)	2	4	4	
	服飾文化(前)	1	2	2			服飾文化(後)	1	2	2	
< 通 年 >						< 通 年 >					
総合的な探究の時間		3	4	3	試験:なし / 認定時期:2月末						

通信制課程以外での学修の成果

通信制課程以外での学修の成果による単位認定には、通定併修、高等学校卒業程度認定試験合格科目、実務代替及び技能審査の成果による単位認定等があります。

本校の卒業に必要な単位として認定するにあたって、以下のような条件があるので注意してください。詳しいことは、ルーム担任に相談してください。

- (1) 単位認定の申請ができるものは、入学時を除き、本校在籍中に行った活動に限る。
- (2) 年度ははじめの受講登録時に申請を行う。
- (3) 1年間に単位認定できるのは、受講登録した講座の単位数と合わせて30単位までとする。
- (4) 卒業に必要な単位として認定する上限は<表1>のとおり。

(1) 通定併修

通定併修とは、本校の定時制課程で開講している講座を受講して、単位を修得することができる制度のことです。通定併修で修得した単位は、卒業に必要な単位に加えることができます。

(2) 高等学校卒業程度認定試験合格による単位認定

高等学校卒業程度認定試験で合格した科目は、本校の規定に従って単位認定し、卒業に必要な単位に加えることができます。ただし、単位認定の申請をする場合、全科目合格者は文部科学省発行の「合格証明書」(写し可)、一部科目合格者は「科目合格通知書」(写し可)が必要です。

(3) 技能審査の成果による単位認定

現在、職業資格付与のための試験や実践的技能・技術の能力の検定等を目的とした多様な検定試験、いわゆる技能審査が実施されています。

本校では、<表2>の技能審査に合格又はその特定の資格を取得した場合、その成果を対応する本校の教科・科目の増加単位として認定することができます。ただし、単位に認定の申請をする場合、当該技能審査の「合格証明書」(写し可)が必要です。

(4) 実務代替による単位認定

商業科目「ビジネス基礎」を受講する生徒または単位修得済みの生徒が、現にその科目と密接な関係にある職業に従事しており、その職業における実務等が「ビジネス基礎」の一部を履修したものと同様の成果があると認められるとき、その実務等をもって、「ビジネス基礎」に増加単位と認定することができます。

(5) 浜田ビューティーカレッジによる単位認定

本校に在籍しながら浜田ビューティーカレッジにも在籍する生徒を対象に、浜田ビューティーカレッジでの修得単位について、校内で審議を経て増加単位として認定することができます。

<表1>単位認定上限数

(1) 校内併修(通定併修)	年間12単位(単位既修得者のみ)	卒業までに24単位
(2) 高等学校卒業程度認定試験合格科目	卒業までに16単位	
(3) 技能審査の成果	卒業までに16単位	
(4) 実務代替	卒業までに2単位	
(5) 浜田ビューティーカレッジでの修得単位	卒業までに11単位	
(6) 学校設定科目	卒業までに20単位	

<表2>技能審査の成果による単位認定

技能審査の種類	実施団体等	級・種別	対応科目	認定 単位数
日本漢字能力検定	(公財)日本漢字能力検定協会	2級以上	現代の国語	2
歴史能力検定 世界史	歴史能力検定協会	2級以上	世界史探究	2
歴史能力検定 日本史	歴史能力検定協会	2級以上	日本史探究	2
実用数学技能検定	(公財)日本数学検定協会	2級以上	数学Ⅱ	1
気象予報士	(一財)気象業務支援センター	／	科学と人間生活	2
実用英語技能検定	(公財)日本英語検定協会	2級以上	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡのうちいずれかの1科目	3
英語検定	(公財)全国商業高等学校協会	1級	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡのうちいずれかの1科目	3
硬筆書写技能検定	(一財)日本書写技能検定協会	2級以上	書道Ⅰ	1
毛筆書写技能検定	(一財)日本書写技能検定協会	2級以上	書道Ⅰ、書道Ⅱのうちいずれかの1科目	2
全国高等学校「保育」技能検定	全国高等学校家庭科教育振興会	1級	保育基礎	2
情報処理検定	(公財)全国商業高等学校協会	1級	情報処理	2
情報処理検定	(公財)全国商業高等学校協会	1級	情報処理	2
情報処理能力検定	(公財)全国経理教育協会	1級	情報処理	2
基本情報技術者試験	経済産業省	／	情報処理	3
ITパスポート試験	経済産業省	／	情報処理	3
簿記実務検定	(公財)全国商業高等学校協会	1級	簿記	3
簿記能力検定	(公財)全国経理教育協会	1級	簿記	3
簿記検定	日本商工会議所	2級以上	簿記	2
商業経済検定	(公財)全国商業高等学校協会	1,2級	ビジネス基礎	2
販売士検定	日本商工会議所	2級以上	ビジネス基礎	2

S3 受講手続き（「受講指導」→「受講登録」）

学習を始めるには、受講する講座を決めて「受講手続き」をする必要があります。1年間の学習計画を立てる大事な手続きです。

在校生は、3月に実施される「受講指導」の日に出校し、ルーム担任の指導を受けて来年度受講する講座を決めます。そして、新年度の始め(4月)に受講登録をします。

定められた期間内に受講手続きを終えなければ新年度の受講ができなくなりますので、注意してください。

新入学生は、新入学生一日入学の日に「受講指導」を受け同時に「受講登録」をします。

※1年間に受講登録できる単位数(通信制課程以外での学修の成果を含む)は、修得単位のない生徒は24単位まで、修得単位のある生徒は30単位までです。

※受講登録した講座の有効期間は1年間です。この間に単位修得できない場合は、新年度に改めて受講手続きをし、その学習を初めからやり直すことになります。
(レポート、スクーリングともに、0からのスタートです)

S4 年間行事予定

4 月			5 月			6 月		
1	火		1	木	プレススクーリング(大益)	1	日	本S③・協S(大田③益田④)
2	水		2	金	振替(4/27)	2	月	R配付
3	木		3	土	憲法記念日	3	火	火S④ 健康診断 Rメ切
4	金		4	日	みどりの日	4	水	
5	土		5	月	こどもの日	5	木	
6	日		6	火	振替休日	6	金	振替(6/8)
7	月		7	水	進路適性検査(卒業予定生)	7	土	県定通体育大会?
8	火		8	木		8	日	本S④・協S(大田④益田⑤),浜田保護者会
9	水		9	金	振替(5/11)	9	月	
10	木	進研記述模試(3年) ●	10	土		10	火	火S⑤,避難訓練,心と体の健康講座①
11	金	振替(4/6)	11	日	本S①・協S①	11	水	企業・学校見学①
12	土		12	月	R配付	12	木	
13	日	在校生受講手続き	13	火	火S①,情報モラル教育講演会	13	金	振替(6/15)
14	月		14	水		14	土	
15	火	新入生1日入学(新入)AM	15	木		15	日	本S⑤・協S⑤(大田のみ⑤),大田保護者会 Rメ切
16	水	新入生1日入学(転入)AM	16	金	振替(5/18)	16	月	
17	木		17	土		17	火	火S⑥,校医検診,尿検査予備日①
18	金	振替(4/13)	18	日	PTA総会,本S②・協S②	18	水	尿検査予備日②
19	土		19	月		19	木	
20	日	前期入学式	20	火	火S②,生徒総会① Rメ切	20	金	振替(6/22)
21	月		21	水	進研共通テ(3年) ●	21	土	
22	火		22	木		22	日	本S⑥・協S⑥
23	水		23	金	地域巡検(浜田)	23	月	
24	木		24	土		24	火	火S⑦,就職説明会,社会人基礎力講座②
25	金	振替(4/20)	25	日	協S(益田のみ③) 益田保護者会	25	水	進研記述(全学年)
26	土		26	月	振替(5/25)	26	木	地域巡検(益田),進研記述(3年)
27	日	前期全校集会 R配付	27	火	火S③,進学説明会・社会人基礎力講座①	27	金	振替(6/29)
28	月		28	水		28	土	
29	火	昭和の日	29	木	遠足	29	日	本S⑦・協S⑦ Rメ切
30	水	プレススクーリング(浜田)	30	金	振替(6/1)	30	月	進路適性検査(在校生)
進路希望調査			31	土				
7 月			8 月			9 月		
1	火	火S⑧ 生徒会提案行事	1	金		1	月	
2	水		2	土		2	火	着こなし講座
3	木		3	日		3	水	
4	金	振替(7/6)	4	月		4	木	
5	土		5	火		5	金	振替(8/31)
6	日	本S⑧・協S⑧	6	水	受験手続き締切,探究①合格締切	6	土	
7	月		7	木	受験科目一覧発送	7	日	
8	火	火S⑨,進路探究①	8	金		8	月	進駿①共通テ(3年)
9	水		9	土		9	火	追認試験・追認会議
10	木		10	日		10	水	進駿①共通テ(3年)
11	金	振替(7/13)	11	月	山の日	11	木	
12	土		12	火		12	金	振替(9/14)
13	日	本S⑨・協S⑨ Rメ切	13	水	学校閉庁日	13	土	
14	月		14	木	学校閉庁日	14	日	
15	火	火S⑩	15	金	学校閉庁日	15	月	敬老の日
16	水	進路ガイダンス(希望者)	16	土		16	火	
17	木		17	日	前期試験①(浜大益)	17	水	
18	金	振替(7/20)	18	月		18	木	
19	土		19	火	前期試験②(浜大益)	19	金	
20	日	本S⑩・協S⑩,大掃除	20	水		20	土	
21	月	海の日	21	木		21	日	
22	火		22	金	振替(8/17)	22	月	前期卒業式AM
23	水		23	土		23	火	秋分の日
24	木	前期レポート合格締切	24	日	前期試験③(浜大益)	24	水	新入生1日入学AM
25	金		25	月		25	木	
26	土		26	火	前期試験④(浜)	26	金	
27	日		27	水		27	土	
28	月	受験手続き書類発送	28	木		28	日	
29	火		29	金	振替(8/24)	29	月	
30	水		30	土		30	火	
31	木		31	日				
地域巡検			防犯訓練 全国定通体育大会 ジオラマ全国大会			進路希望調査		

10 月			11 月			12 月		
1	水	後期入学式	1	土		1	月	
2	木		2	日	本S④・協S④,防災学習(大)	2	火	火S⑧,生徒会役員選挙告示,社会人基礎力講座⑤
3	金	振替(10/5)	3	月	文化の日	3	水	
4	土		4	火	学校公開日AM・火S④	4	木	心と体の健康講座④
5	日	後期全校集会・R配布	5	水	企業・学校見学②,就職ガイダンス(希望者)	5	金	振替(12/7)
6	月		6	木		6	土	
7	火	県生活体験発表会,プレスツーリング(浜)	7	金	振替(11/9)	7	日	本S⑧・協S⑧
8	水	プレスツーリング(大益)	8	土		8	月	
9	木		9	日	本S⑤・協S⑤	9	火	火S⑨,人権教育講演会 Rメ切
10	金	振替(10/12)	10	月		10	水	進路ガイダンス(希望者)
11	土		11	火	火S⑤,社会人基礎力講座④ Rメ切	11	木	
12	日	本S①・協S①	12	水		12	金	振替(12/14)
13	月	スポーツの日	13	木		13	土	
14	火	火S①,社会人基礎力講座③	14	金	振替(11/16)	14	日	本S⑨・協S⑨,大掃除
15	水	進駿②記述(3年) ↓	15	土		15	月	
16	木		16	日	本S⑥・協S⑥,先輩から学ぶ会	16	火	火S⑩
17	金	振替(10/19)	17	月		17	水	
18	土		18	火	火S⑥,心と体の健康講座③ Rメ切	18	木	
19	日	本S②・協S②,防災学習(浜)	19	水		19	金	振替(12/21)
20	月		20	木	全統ブレ共通テ(3年) ↓	20	土	
21	火	火S②,定通合同スポーツ大会	21	金		21	日	本S⑩・協S⑩
22	水		22	土		22	月	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火	後期レポート合格締切
24	金	振替(10/26)	24	月	振替休日	24	水	
25	土		25	火	火S⑦,進路探究②	25	木	受験手続き書類発送
26	日	本S③・協S③,防災学習(益) Rメ切	26	水		26	金	
27	月		27	木	通信制感謝祭(仮) 探究②③合格締切	27	土	
28	火	火S③,心と体の健康講座②	28	金	振替(11/30)	28	日	
29	水	進駿③共通テ(3年)、進研記述(1・2年) ↓	29	土		29	月	
30	木		30	日	本S⑦・協S⑦ Rメ切	30	火	
31	金	振替(11/2)				31	水	
地域巡検(浜田)			全国生活体験発表会					
1 月			2 月			3 月		
1	木	元日	1	日	再試験	1	日	卒業式
2	金		2	月		2	月	振替(2/28)
3	土		3	火		3	火	
4	日		4	水		4	水	
5	月		5	木	進研共通テ(2年) ↓	5	木	
6	火		6	金		6	金	振替(3/1)
7	水	受験手続き締切	7	土		7	土	
8	木	受験科目一覧発送	8	日		8	日	
9	金		9	月		9	月	
10	土		10	火	追認試験	10	火	
11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	火		13	金	冬季集団研修	13	金	振替(3/15)
14	水	進研記述(1・2年) ↓	14	土		14	土	
15	木		15	日		15	日	在校生受講指導
16	金	振替(1/18)	16	月		16	月	
17	土		17	火	在校生授賞式・生徒総会②	17	火	
18	日	後期試験①(浜大益)	18	水		18	水	
19	月		19	木		19	木	
20	火	後期試験②(浜大益)	20	金		20	金	春分の日
21	水		21	土		21	土	
22	木		22	日		22	日	
23	金	振替(1/25)	23	月	天皇誕生日	23	月	
24	土		24	火		24	火	離任式
25	日	後期試験③(浜大益)	25	水		25	水	
26	月		26	木		26	木	
27	火	後期試験④(浜)	27	金		27	金	
28	水		28	土	卒業生授賞式AM,会食マナー講座,同窓会入会式	28	土	
29	木	探究④合格締切				29	日	
30	金	振替(2/1)				30	月	振替(3/28)
31	土					31	火	
生徒会役員選挙投票日(後期試験時)								

学校行事の内容

4月	在校生受講手続き	3月に1年間学習する講座をルーム担任と相談、決定し、受講願を提出。
	前期新入生1日入学	前期入学生が1年間学習する講座を決定し、受講願を提出。
	前期入学式	前期入学生の入学式を実施。
	前期全校集会	新入生を含め、通信制の活動生が集合する。集会後にルームごとに分かれて、教科書・学習書、前期レポートを受け取る。
	前期プレスクーリング	ルーム担任とスクーリング計画を立てて、実際にレポートに取り組む。
5月	本S①	本校スクーリング第1回の略。浜田定通校舎で実施するスクーリングが始まる。
	協S①	協力校スクーリング第1回の略。大田高校、益田高校で実施するスクーリングが始まる。
	火S①	火曜スクーリング第1回の略。浜田高校定通校舎のみで実施する。
	進路適性検査 (卒業予定生)	進路適性(進学・就職)を知るための検査(性格・興味等に関する質問と知識・思考力を問う問題)を実施。卒業予定生対象。
	情報モラル教育講演会	定通合同で情報モラル教育の専門講師を招き、SNSやインターネットの利便性と危険性について学ぶ。
	PTA総会	定時制・通信制合同で実施。
	第1回生徒総会	新役員紹介、昨年度活動のふり返し、今年度の活動予定など。
	進学説明会	進学希望者向けに説明会・個別相談会を実施。「進路の手引き」に基づいて手続き等を説明。
	社会人基礎力講座①	社会人に必要な力を身に付けるための講座。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
	遠足	バス遠足(過去の行き先は、出雲大社、広島市の平和記念公園、宮島等)
	地域巡検(5・6・7・10月)	大田・浜田・益田地域をそれぞれ1日かけて体験学習をしながら巡る。総合的な探究の時間を受講している生徒は必参加。希望者也可。
6月	保護者会	本校の教員と保護者の方の懇談会。保護者同士の交流の場にもなっている。
	健康診断	環境保健公社による健診を実施。職場で受ける人、病院で受ける人以外は必ず受診。
	県定通体育大会	島根県内の定時制・通信制生徒の全国大会の予選を兼ねた総合体育大会。種目は卓球、バドミントン、バスケットボール等。
	避難訓練	火災等の緊急時に迅速に対応できるよう本校校舎で訓練を行う。
	心と体の健康講座①	令和7年度は、「性に関する指導」
	企業・学校見学①	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
	校医検診	校医による眼科・耳鼻科・歯科検診を実施。職場で受ける人、病院で受ける人以外は必ず受診。
	就職説明会	就職希望者向けに説明会・個別相談会を実施。「進路の手引き」に基づいて手続き等を説明。
	社会人基礎力講座②	社会人に必要な力を身に付けるための講座。昨年度は「面接の受け方」をテーマに実施。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
7月	進路探究①	コミュニケーションスキルの向上を目的とした講座。
	進路適性検査(在校生)	進路適性(進学・就職)を知るための検査(性格・興味等に関する質問と知識・思考力を問う問題)を実施。在校生対象。
	生徒会提案行事	生徒会役員が企画して行事を行う。
	前期大掃除	本校、協力校で実施。
	前期レポート合格しめきり	前期レポートすべての合格しめきり。16:30までに合格している必要あり。
	前期試験受験手続き書類発送	前期レポート、スクーリングが完了した講座について、学校から学習進捗状況を発送。
8月	ジオラマ全国大会	ジオラマで鉄道模型を製作し、東京で開催される大会にオンラインで参加し、リモートでプレゼンを行う。
	前期試験受験手続きしめきり	16:30手続きしめきり。手続きがない場合、受験資格喪失。
	前期試験	前期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
	全国定通体育大会	県大会で出場権を得た選手が、校内審議を経て県代表・学校代表として出場。東京都を中心に関東地区が会場になる。
	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験受験願を提出して受験。本校で実施。

9月	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。本校で実施。
	社会人着こなし講座	就職試験等での身だしなみや作法を学習。主に卒業予定生対象。
	後期新入生1日入学	後期入学生が後期に学習する講座を決定し、受講願を提出。
	前期卒業式	前期卒業式を多目的教室で実施。
10月	後期入学式	後期入学式を多目的教室で実施。
	後期全校集会	後期入学生を含む通信制活動生が集合する。後期レポートを受け取る。
	後期プレスクーリング	ルーム担任とスクーリング計画を立てて、実際にレポートに取り組む。
	社会人基礎力講座③	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
	県生活体験発表大会(※1)	島根県の定時制・通信制各学校の各課程より2名ずつ代表生徒が発表する。県大会優勝者は11月の全国大会(東京)へ出場できる。
	防災学習	災害に際して安全に身を守るよう、本校及び協力校で学習会を行う。
	心と体の健康講座②	食育講演会を実施。
	定通合同スポーツ大会	定時制と合同で行う。令和7年度は、種目は男子バスケットボール、女子ドッジボール。
11月	企業・学校見学②	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。主に次年度の卒業予定見込み者を対象として実施。
	先輩から学ぶ会	浜田高校通信制卒業の先輩の話聞き、今後の進路について考える。
	心と体の健康講座③	令和7年度は、「アロマ講座」
	社会人基礎力講座④	卒業生向けの就労セミナー。
	進路探究②	コミュニケーションスキルの向上を目的とした講座。
	生徒会提案行事	生徒会役員が企画して行事を行う。
12月	社会人基礎力講座⑤	卒業生向けの就労セミナー。
	生徒会課程代表選挙告示	次年度の通信制生徒会の課程代表立候補者、その他役員の募集と選挙日程について示す。
	心と体の健康講座④	令和7年度は、「がんに関する指導」
	後期大掃除	本校、協力校で実施。
	後期レポート合格しめきり	後期レポートすべての合格しめきり。16:30までに合格している必要あり。
	後期試験受験手続き書類発送	後期レポート、クーリングが完了した講座について、学校から学習進捗状況を発送。
	後期試験受験手続きしめきり	16:30手続きしめきり。手続きがない場合、受験資格喪失。
1月	生徒会課程代表選挙投票	後期試験中に投票を実施。
	後期試験	後期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
2月	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験受験願を提出して受験。本校で実施。
	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。本校で実施。
	第2回生徒総会	新旧生徒会役員の交代。1年間の生徒会活動を振り返る。在校生の校内賞(亀山賞(※2))などの授賞式も実施。
	冬季集団研修	冬ならではの体験活動を実施予定。
	卒業生授賞式	卒業予定生対象の各種授賞式。卒業式の予行(前年度の映像の視聴)も実施。
	同窓会入会式	全日制・定時制・通信制合同で、全日制体育館で実施。
	会食マナー講習会	卒業予定生対象に実施。例年ホテル松尾で実施。
3月	卒業式	全日制・定時制・通信制合同で、全日制体育館で実施。
	在校生受講指導	来年度の受講講座をルーム担任と相談して決める。本校・協力校で実施。
	離任式	定時制・通信制合同、本校多目的教室で実施。

※1 生活体験発表大会は、生徒が日々の学校生活を通して学んだ事や体験したことを発表する大会です。7月に全校生徒へ呼びかけ、8月中旬に校内選考を行います。生徒会誌「伊久里」に前年度のものが載っています。

※2 校内賞(亀山賞)とは、将来の進路に向けて検定に合格した生徒、学業と仕事を両立させて頑張った生徒、またスポーツ・文化・芸術に関して活躍した生徒について校内審議を経て表彰されるものです。

その他 「生徒会提案行事」は生徒会役員を中心に実施内容を相談し、決定次第案内します。
過去に「映画鑑賞会」「クリスマスケーキ作り」「アロマキャンドルづくり」「ニュースポーツ」「ジオラマ制作」等を実施。ボランティア活動にも力を入れています。

§5 教科・科目の学習

通信制課程での学習の進め方

通信制課程での学習で大切な3つのポイント

1. 自学自習を原則とする
2. 面接指導（スクーリング）に出席する

※正式名称は「面接指導」ですが、以下「スクーリング」と表記します。

3. 計画的に学習を進め、レポートを作成・提出する

通信制課程の学習は、自分から進んで学習に取り組み、学習内容を自分のものとする積極的な態度が必要です。

教科書・学習書による自学自習などによって、講座ごとに定められた回数のレポートを作成し、添削指導を受けることが中心になります。スクーリングで直接指導を受けます。

総合的な探究の時間を除いて年に2回試験（前期、後期）があります。講座ごとに定められた受験資格の条件を満たすと受験することができます。

講座ごとの学習内容について書いてある「シラバス」はホームページで確認できます。また、レポート回数、最低限出席しなければならないスクーリング時数などは、「令和7年度開講講座一覧表」（P7）に示してあります。

実行可能な学習計画を立て、計画的に学習を進めていくことが大切です。

前 期

前期レポート合格
スクーリング出席



前期試験
【合 格】



単位修得

後 期

後期レポート合格
スクーリング出席



後期試験
【合 格】



単位修得

総合的な探究の時間

地域巡検参加
企業・学校見学参加
社会人基礎力講座参加
スクーリング出席



レポート
【合 格】



単位修得

レポート(添削指導)

- ・全日制では毎日登校して授業を受けますが、通信制では平素の学習は自宅で行います。
- ・この自学自習の成果を学校へ提出するのが『レポート』です。
- ・提出されたレポートは、講座担当が添削し、本人に返します。
- ・添削済みのレポートをもってスクーリングに参加することも可能です。
- ・添削されて返ってきたレポートは、必ず復習して大切に保管してください。

レポート作成の留意事項

- 1 各講座のレポートは、レポート発送日にピンク色の封筒で郵送されます。
※「年間行事予定(P10～11)」及び「レポート配付・発送日・しめきり日一覧」(P17～18)参照。
自分が受講している講座のレポートが届いているか、1週間以内に必ず確認してください。
(1週間を過ぎての申し出はすべて紛失扱いとなり、レポート再交付願の提出が必要になります。)
- 2 レポートは、配付されたものから順番に計画的に取り組ましょう。
- 3 レポートは、教科書・学習書をよく調べて自分で作成しなければなりません。
※他人のレポートの丸写しをした場合、合格にはなりません。
- 4 正確な文字で、丁寧に作成してください(略字を使ってはいけません)。
- 5 解答欄に空欄がある場合は再提出となります。すべての解答欄をきちんと埋めて提出してください。
- 6 レポートの表紙の指定場所にバーコードシールを貼り、ルーム・生徒番号・氏名など必要事項をすべて記入してください。表紙にバーコードシールがない、記入漏れがある場合は「再提出」となります。
生徒バーコードシールがなくなりそうになったときには、早めに担任に申し出てください。
(残ったバーコードシールは次年度も使用できます)
- 7 スクーリングを有効に活用し、レポート作成に最大限役立ててください。
- 8 レポートの返却は、原則週1回です。
※レポート提出後10日間経っても返却されない場合は、学校に問い合わせてください。

レポート提出についての注意事項

- 1 レポートの提出回数は、講座ごとに決まっています。 ※「令和7年度 開講講座一覧表」(P7) 参照
- 2 レポートは「提出しめきり日」までに提出してください。また、「合格しめきり日」の16:30までにすべてのレポートが合格していなければ、試験を受けることはできません。計画的に提出しましょう。
※「レポート配付・発送日・しめきり日一覧」(P17～18) 参照

3 レポートは、次の①～③のいずれかの方法で提出してください。

① 郵 送

通信教育用の封筒(大)(第4種郵便:右図)を使用し、必要事項を記入して、切手(100gまで15 円)を貼って送付してください。

封筒はのり付けしてください。

(※ホッチキスでとめないでください)

封筒は本校レポート提出ボックス横にあります。

② 本校の所定のボックスに投函

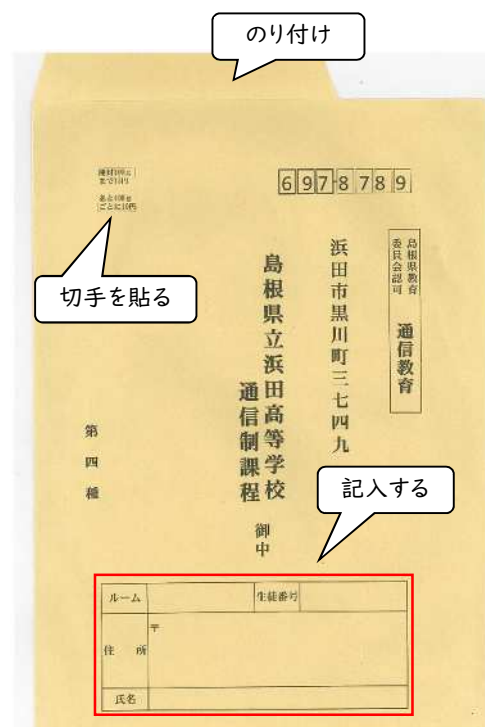
③ スクーリング時に教員に直接手渡し

(協力校は本校の出張教員へ)

※レポートの受付は16:30まで【必着】です。

郵便で提出する場合は、しめきりまでに余裕をもって提出してください。

郵便事情が変わり、これまで以上に日数がかかるようになっていきます。



レポートの採点方法と合格について

- 1 提出しめきり日までに提出し、各観点別評価がAかBの場合に合格となります。
- 2 提出しめきり日までに提出したが、各観点別評価のどれかがCの場合は再提出となります。
合格する(各観点別評価がBになる)まで提出が必要です。
- 3 提出しめきり日を過ぎて提出した場合、一律に「主体的に取り組む態度(主)」を2点減点します。
- 4 すべての講座において、空欄(未記入箇所がある場合)、成果物なし、バーコードシールなしの場合、採点対象にならず、「再提出」になりますが、しめきり日までに再提出された場合は減点対象にはなりません。
- 5 各講座1日1回分の合格のみ認めています。

各回のレポートの観点別評価基準は、下記のとおりです。

<評 価>	<レポートの評価基準>
A	90%以上
B	80%以上 90%未満
C	80%未満

※1 観点別評価で1つでもCがあると「再提出」です。

※2 再提出の場合、レポートでの「アドバイス」を参考に、合格するまで再提出してください。

※3 再提出後、合格した際の観点別評価は「B」、評価は8割となります。

(例) $88 \text{ 点} \times 0.8 = 70.4 \Rightarrow 71 \text{ 点}$ (小数点以下切り上げ)

レポート配付日・発送日・しめきり日一覧

【①～⑥、●～●はレポートの第1～6回を表しています】

R7前期		4月27日 (日)	5月12日 (月)	5月20日 (火)	6月2日 (月)	6月3日 (火)	6月15日 (日)	6月29日 (日)	7月13日 (日)	
講座名	レポート 回数	配布日 《1》	郵送日 《2》	しめきり日 【1】	郵送日 《3》	しめきり日 【2】	しめきり日 【3】	しめきり日 【4】	しめきり日 【5】	
現代の国語	3	①	②	●	③		②		③	7月24日（木）前期レポート合格しめきり日
言語文化	3	①	②	●	③		②		③	
文学国語	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
古典探究	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
地理総合	3	①	②	●	③		②		③	
地理探究	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
歴史総合	3	①	②	●	③		②		③	
日本史探究	3	①	②	●	③		②		③	
世界史探究	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
公共(a)	3	①	②	●	③		②		③	
公共(b)	3	①	②	●	③		②		③	
政治・経済(a)	3	①	②	●	③		②		③	
政治・経済(b)	3	①	②	●	③		②		③	
数学入門(1)	3	①	②	●	③		②		③	
数学入門(2)	3	①	②	●	③		②		③	
数学入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)●②	(2)②③	(1)③	(2)①	(2)②	(2)③	
数学Ⅰ(1)	3	①	②	●	③		②		③	
数学Ⅰ(2)	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
数学Ⅰ(1)(2)同時履修	9	(1)①②③	(2)①②③	(1)●②	(2)④⑤⑥	(1)③(2)①	(2)②③	(2)④⑤	(2)⑥	
数学Ⅱ	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
数学A	3	①	②	●	③		②		③	
科学と人間生活	3	①	②	●	③		②		③	
物理基礎	3	①	②	●	③		②		③	
化学基礎	3	①	②	●	③		②		③	
生物基礎	3	①	②	●	③		②		③	
体育Ⅰ	1	①							●	
体育Ⅱ	1	①							●	
体育Ⅲ	2	①			②		①		②	
体育Ⅳ	1	①							●	
体育Ⅴ	1	①							●	
保健	3	①	②	●	③		②		③	
美術Ⅰ	3	①②③		●			②		③	
美術Ⅱ	3	①②③		●			②		③	
書道Ⅰ	3	①②③		●			②		③	
書道Ⅱ	3	①②③		●			②		③	
英語入門(1)	3	①	②	●	③		②		③	
英語入門(2)	3	①	②	●	③		②		③	
英語入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)●②	(2)②③	(1)③	(2)①	(2)②	(2)③	
英語コミュニケーションⅠ	3	①	②	●	③		②		③	
英語コミュニケーションⅡ	6	①②	③④	●②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥	
論理・表現Ⅰ	3	①	②	●	③		②		③	
家庭総合	4	①②	③④	●		②	③		④	
情報Ⅰ	3	①	②	●	③		②		③	
ビジネス基礎	2	①			②		①		②	
簿記	4	①	②③	●	④		②	③	④	
情報処理	4	①	②③	●	④		②	③	④	
消費生活	4	①	②③	●	④		②	③	④	
保育基礎	4	①	②③	●	④		②	③	④	
服飾文化	2	①②					①		②	
総合的な探究の時間	通年 4	①②③④							8/6(水) ●合格しめきり	

レポート配付日・発送日・しめきり日一覧

【①～⑥、①～⑤はレポートの第1～6回を表しています】

R7後期		レポート 回数	10月5日 (日)	10月20日 (月)	10月26日 (日)	11月10日 (月)	11月11日 (火)	11月18日 (火)	11月30日 (日)	12月9日 (火)	
講座名			配布日 《1》	郵送日 《2》	しめきり日 【1】	郵送日 《3》	しめきり日 【2】	しめきり日 【3】	しめきり日 【4】	しめきり日 【5】	
現代の国語	3	①	②	①	③		②		③		12月23日(火)後期レポート合格しめきり日
言語文化	3	①	②	①	③		②		③		
文学国語	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
古典探究	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
地理総合	3	①	②	①	③		②		③		
地理探究	3	①	②	①	③		②		③		
歴史総合	3	①	②	①	③		②		③		
日本史探究	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
世界史探究	3	①	②	①	③		②		③		
公共(a)	3	①	②	①	③		②		③		
公共(b)	3	①	②	①	③		②		③		
政治・経済(a)	3	①	②	①	③		②		③		
政治・経済(b)	3	①	②	①	③		②		③		
数学入門(1)	3	①	②	①	③		②		③		
数学入門(2)	3	①	②	①	③		②		③		
数学入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)①②	(2)②③	(1)③	(2)①	(2)②	(2)③		
数学Ⅰ(1)	3	①	②	①	③		②		③		
数学Ⅰ(2)	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
数学Ⅰ(1)(2)同時履修	9	(1)①②③	(2)①②③	(1)①②	(2)④⑤⑥	(1)③(2)①	(2)②③	(2)④⑤	(2)⑥		
数学Ⅱ	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
数学A	4	①	②③	①	④		②	③	④		
科学と人間生活	3	①	②	①	③		②		③		
物理基礎	3	①	②	①	③		②		③		
化学基礎	3	①	②	①	③		②		③		
生物基礎	3	①	②	①	③		②		③		
体育Ⅰ	1	①							①		
体育2	1	①							①		
体育3	1	①							①		
体育4	1	①							①		
体育5	1	①							①		
保健	3	①	②	①	③		②		③		
美術Ⅰ	3	①②③		①			②		③		
美術Ⅱ	3	①②③		①			②		③		
書道Ⅰ	3	①②③		①			②		③		
書道Ⅱ	3	①②③		①			②		③		
英語入門(1)	3	①	②	①	③		②		③		
英語入門(2)	3	①	②	①	③		②		③		
英語入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)①②	(2)②③	(1)③	(2)①	(2)②	(2)③		
英語コミュニケーションⅠ	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
英語コミュニケーションⅡ	6	①②	③④	①②	⑤⑥	③	④	⑤	⑥		
論理・表現Ⅰ	3	①	②	①	③		②		③		
家庭総合	4	①②	③④	①		②	③		④		
情報Ⅰ	3	①	②	①	③		②		③		
ビジネス基礎	4	①	②③	①	④	②		③	④		
簿記	4	①	②③	①	④	②		③	④		
情報処理	5	①	②③	①	④⑤	②	③	④	⑤		
消費生活	2	①			②		①		②		
保育基礎	4	①	②③	①	④	②		③	④		
服飾文化	2	①②					①		②		
総合的な探究の時間	通年 4	A3用紙 2枚(④)					11/27(木) ●●合格しめきり			1/29(木) ●●合格しめきり	

スクーリング（面接指導）

登 校

生徒証の携行

忘れた場合は、「仮生徒証」の発行をお願いする。
（本校：職員室へ、協力校：出張教職員に申し出る）

出校表を記入

生徒番号、氏名、その日の体調、出席予定を記入する。

連絡掲示物の確認

時間割やお知らせ、使用教室などを確認する。

そ の 他

貴重品や荷物の管理は各自で。（本校：ロッカー施錠）

スクーリングへ出席

- ・ 生徒証の提示
- ・ 教科書、学習書、レポートの準備
④出席する講座のレポートならどれでも可
（持参していない場合は、出席にカウントされません）
- ・ スクーリング終了後、講座バーコードシートに自分のバーコードシールを貼付（体育や芸術等2時間続きで受講する場合も1時間ごとにバーコードシールを貼る）

※空き時間は図書学習室（生徒控室）等で自学自習

出校表の確認

予定を変更した場合は訂正する。

そ の 他

忘れ物等がないように注意しましょう。
（本校図書学習室の使用は 16:30まで）

下 校

スクーリングについて

- ・スクーリングは、先生から直接指導を受ける大事な機会です。
- ・分からないところや疑問点等があれば、積極的に質問しましょう。
- ・年間の実施予定日は、「年間行事予定」(P10～11)を参照してください。(本S・協S)
- ・授業の他に、各種特別活動に参加することができます。「特別活動」年間計画(P33～34)参照

※スクーリングに出席すると…

- ① 各科目における重要な学習事項と学習方法を身につけることができます。
- ② レポートに対応した授業なので、計画的に出席することで、レポート作成に役立ちます。

スクーリングに必ず持参するもの

- 全講座：生徒証、教科書、学習書★、レポート、筆記用具、生徒バーコードシール
★一部、教科書のみ、学習書のための講座があります。
教科書購入申込書の控えで確認できます。
- 体 育：体育館シューズ、ジャージ(運動のできる伸縮素材を用いた短パン・Tシャツでも可)
- 芸 術：必要な用具一式、学習開始時に渡された教材

※必要な教材や用具を忘れると、授業に出席できない場合があります。

スクーリングの種類と実施内容

スクーリングには、本校(浜田高等学校)で実施するスクーリング(本S・火S)の他に、大田、益田の各協力校で実施する協力校スクーリング(協S)があります。

協力校ルーム(大田：1A、1B／益田：3A、3B)の生徒は、協力校でのスクーリングに加えて、本校で実施するスクーリングにも出席することができます。

浜田ルーム(2A、2B、2C、2D)の生徒は、協力校スクーリング(協S)に出席することはできません。

1 本校スクーリング(本S)・火曜スクーリング(火S)

浜田高等学校(通信制)で、日曜日及び火曜日に実施します。

講義形式(通常の授業形式)の講座とレポート支援の講座を組み合わせて実施します。

大田協力校(ルーム：1A、1B)・益田協力校(ルーム：3A、3B)の生徒も出席できます。

2 協力校スクーリング(協S)

大田、益田の協力校で、日曜日に実施します。

それぞれの協力校地区のルームの生徒だけが出席することができます。

レポート支援の講座を開講し、各協力校地区の先生が指導します。

スクーリング時程表

○本校スクーリング(本S)

日曜日(浜田)

時 限	時 間
1 時 限	8:50 ~ 9:40
2 時 限	9:50 ~ 10:40
3 時 限	10:50 ~ 11:40
4 時 限	11:50 ~ 12:40
昼 休 み	
5 時 限	13:15 ~ 14:05
6 時 限	14:15 ~ 15:05
S H R	15:15 ~ 15:30

○火曜スクーリング(火S)

火曜日(浜田)

時 限	時 間
1 時 限	8:50 ~ 9:40
2 時 限	9:50 ~ 10:40
3 時 限	10:50 ~ 11:40
4 時 限	11:50 ~ 12:40
昼 休 み	
5 時 限	13:10 ~ 13:55 (45分授業)
6 時 限	14:00 ~ 14:45 (45分授業)
S H R	14:55 ~ 15:10

○協力校スクーリング(協S)

日曜日(大田、益田)

時 限	時 間
1 時 限	9:00 ~ 9:45
2 時 限	9:55 ~ 10:40
3 時 限	10:50 ~ 11:35
4 時 限	11:45 ~ 12:30
SHR	
昼 休 み	
5 時 限	13:15 ~ 14:00
6 時 限	14:10 ~ 14:55

出席しなければならないスクーリング時間数と出席の確認

1 スクーリング出席時間数

- ・講座ごとに出席しなければならないスクーリング時間数が決まっています。「令和7年度開講講座一覧表」(P7) 参照。
- ・事故・病気または悪天候による交通機関の運休等が起こりうることを考慮して、規定時間数のスクーリングが完了するように計画しましょう。なお、試験時間はスクーリング時間数に加えません。

2 出席の記録

- ・スクーリングや特別活動への出席は、「講座バーコードシート」に生徒バーコードシールを貼り付けることで記録管理します。
 - ・スクーリングや特別活動に出席するときには、生徒バーコードシールを必ず持参し、担当の先生の指示に従って、「講座バーコードシート」に貼り付けてください。
 - ・生徒バーコードシールを貼り付けないと、出席したことになりません。
- 生徒バーコードシールがなくなりそうになったときには、早めに担任に申し出てください。
(残ったバーコードシールは次年度も使用できます)

スクーリング計画表(前期)

時間割を見て計画を立てましょう。

日付	曜日	本校	協力校	1限	2限	3限	4限	5限	6限	レポート メ切
5月11日	日	①	①							
5月13日	火	①								
5月18日	日	②	②							
5月20日	火	②								①
5月25日	日		益田 のみ③							
5月27日	火	③								
6月1日	日	③	大田③ 益田④							
6月3日	火	④				健康診断(浜田)				②
6月8日	日	④	大田④ 益田⑤							
6月10日	火	⑤								
6月15日	日	⑤	大田 のみ⑤							③
6月17日	火	⑥						校医検診(浜田)		
6月22日	日	⑥	⑥							
6月24日	火	⑦								
6月29日	日	⑦	⑦							④
7月1日	火	⑧								
7月6日	日	⑧	⑧							
7月8日	火	⑨								
7月13日	日	⑨	⑨							⑤
7月15日	火	⑩								
7月20日	日	⑩	⑩							

前期レポート合格締切; 7月24日 **16:30**

スクーリング計画表(後期)

時間割を見て計画を立てましょう。

日付	曜日	本校	協力校	1限	2限	3限	4限	5限	6限	レポート メ切
10月12日	日	①	①							
10月14日	火	①								
10月19日	日	②	②							
10月21日	火	②								
10月26日	日	③	③							①
10月28日	火	③								
11月2日	日	④	④							
11月4日	火	④								
11月9日	日	⑤	⑤							
11月11日	火	⑤								②
11月16日	日	⑥	⑥							
11月18日	火	⑥								③
11月25日	火	⑦								
11月30日	日	⑦	⑦							④
12月2日	火	⑧								
12月7日	日	⑧	⑧							
12月9日	火	⑨								⑤
12月14日	日	⑨	⑨							
12月16日	火	⑩								
12月21日	日	⑩	⑩							

後期レポート合格締切; 12月23日 16:30

※レポート発送時に送られてきます。
自分の学習の状況を把握するのに活用しましょう。

学習進捗状況

年度	ルーム	生徒番号	氏名	進捗状況年月日

			1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16																			
No.	講座名	単位数	必要回数	レポート（●合格 ▲再提出 ▼添削中）																	備考	
			必要時数	スクーリング（○出席 □視聴報告による認定）																		
1			6	← 科目ごとに決められているレポート提出の回数																		
			2	← 科目ごとに決められているスクーリング時数																		
2				●	●	●	▲				← ●合格:3回、▲再提出											
				○	○	□	□				← ○出席:2時数、□視聴報告4回											
3	世界史探究（前）	2	6	●	●	●	●	●	●	← レポート必要回数「完了」												
			2	○	○					← スクーリング必要時数「完了」												
4	科学と人間生活（前）	1	3	●	●	▲				← レポート必要回数「未完了」（再提出）												
			4	○	○					← スクーリング必要時数「未完了」（残り2時数）												
5																						
6																						
7																						
8																						
合計			特別活動	前校で参加した時間数								時間								今年度の 出校日数	日	
				昨年度までに参加した時間数								時間										
				今年度参加した時間数								時間										
				合 計								時間										

※特別活動は卒業までに30時間以上の出席が必要です。

今年度受講単位数	
既修得単位数	
卒業予定生	

放送視聴学習

(1) NHK「高校講座」の利用について

NHK・Eテレ、ラジオ第2放送(AM693KHz)で放送されています。

NHK高校講座を利用すると、

- ①各科目で放送時間が毎週決まっているので、計画的に学習に取り組めます。
- ②スクーリング授業の予習・復習になります。
- ③レポート学習に取り組みやすくなります。
- ④試験前に番組を見ると試験対策にもなります。
- ⑤1つの番組は10～20分と短時間なので、集中して学習できます。

また、教科書や学習書を参考にしてもなかなか理解できない、レポートが進まないときなどに、ぜひ、NHK高校講座を利用してください。番組の中で映像に合わせてゆっくり解説してくれますので、レポートも理解しやすくなります。

NHK高校講座の利用方法は、スクーリング授業や「亀山通信」、ホームページなどでもお知らせします。さらに、テレビ・ラジオ放送終了後には、スマートフォン、タブレット端末等で番組をいつでも視聴することができます。ぜひ利用してみてください。

スマートフォンやタブレット端末を利用すれば、

- ①自分の好きなときにいつでも見る(聴く)ことができます。
- ②繰り返し見る(聴く)ことができます。
- ③理解を助ける「学習メモ」を利用できます。
- ④「理解度チェック」で基本的な内容が理解できているか自分でチェックできます。

(2) 番組時刻表(2025年度)

※本校で対象になる講座のみ示しています。

◆Eテレ

時刻 \ 曜日	月	火	水	木	金
10:00～10:20	現代の国語 ／公共	生物基礎	地理総合 ／歴史総合	英語 コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ／ 科学と人間生活
10:20～10:30	数学Ⅰ	化学基礎	日本史	ベーシック英語	数学A
10:30～10:40				物理基礎	
10:40～10:50	地理探究		世界史探究	ベーシック数学	家庭総合
10:50～11:00					
11:00～11:10					ビジネス基礎
11:10～11:30					美術Ⅰ／書道Ⅰ

◆ラジオ第2 (AM放送)

松江(1593KHz) 浜田(1359KHz) 益田(1539KHz) 津和野(1359KHz)

石見(1512KHz) 川本(1602KHz)

時刻 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
19:35~19:55	文学国語	文学国語	日本史探究		古典探究	
19:55~20:15	数学Ⅱ	数学Ⅱ				政治・経済
20:15~20:35	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ	保健体育		言語文化	言語文化

(3) 視聴によるスクーリング時間数の免除について

視聴した結果を「視聴報告書」にまとめて提出し、合格と認定された場合は、該当講座のスクーリング時間数の一部が免除されます。

テレビ講座・ラジオ講座とも同一講座を2回分視聴し、学習効果があったと認定されたとき、1時間のスクーリング時間数が免除されます。

(1回分あたり0.5時間のスクーリングとみなす)

(4) 放送視聴学習により免除されるスクーリング時間数

教科名	講座名	スクーリング 時間数	視聴 時代 数替 上限
国語	現代の国語(前)	2	1
	現代の国語(後)	2	1
	言語文化(前)	2	1
	言語文化(後)	2	1
	文学国語(前)	2	1
	文学国語(後)	2	1
	古典探究(前)	2	1
	古典探究(後)	2	1
地理 歴史	地理総合(前)	2	1
	地理総合(後)	2	1
	地理探究(前)	2	1
	地理探究(後)	2	1
	歴史総合(前)	2	1
	歴史総合(後)	2	1
	日本史探究(前)	2	1
	日本史探究(後)	2	1
	世界史探究(前)	2	1
	世界史探究(後)	2	1
公民	公共(a)	2	1
	公共(b)	2	1
	政治・経済(a)	2	1
	政治・経済(b)	2	1
数学	数学入門(1)	2	1
	数学入門(2)	2	1
	数学Ⅰ(1)	2	1
	数学Ⅰ(2)	2	1
	数学Ⅱ(前)	2	1
	数学Ⅱ(後)	2	1
	数学A(前)	2	1
	数学A(後)	2	1
理科	科学と人間生活(前)	4	2
	科学と人間生活(後)	4	2
	物理基礎(前)	4	2
	物理基礎(後)	4	2
	化学基礎(前)	4	2
	化学基礎(後)	4	2
	生物基礎(前)	4	2
	生物基礎(後)	4	2

教科名	講座名	スクーリング 時間数	視聴 時代 数替 上限
保健 体育	体育Ⅰ(前)	5	3
	体育Ⅰ(後)	5	3
	体育Ⅱ(前)	5	3
	体育Ⅱ(後)	5	3
	体育Ⅲ(前)	10	6
	体育Ⅲ(後)	5	3
	体育Ⅳ(前)	5	3
	体育Ⅳ(後)	5	3
	体育Ⅴ(前)	5	3
	体育Ⅴ(後)	5	3
芸術	美術Ⅰ(前)	4	2
	美術Ⅰ(後)	4	2
	書道Ⅰ(前)	4	2
	書道Ⅰ(後)	4	2
外国語	英語入門(1)	4	2
	英語入門(2)	4	2
	英語コミュニケーションⅠ(前)	4	2
	英語コミュニケーションⅠ(後)	8	4
	英語コミュニケーションⅡ(前)	8	4
	英語コミュニケーションⅡ(後)	8	4
	論理・表現Ⅰ(前)	4	2
	論理・表現Ⅰ(後)	4	2
家庭	家庭総合(前)	4	2
	家庭総合(後)	4	2
情報	情報Ⅰ(前)	2	1
	情報Ⅰ(後)	2	1
商業	ビジネス基礎(前)	3	1
	ビジネス基礎(後)	4	2

(5) その他

- ・視聴報告書(P28～29)を各自でコピー(A3 1枚)して作成してください。
- ・合格のしめきり:スクーリング最終日の16:30まで。余裕をもって提出してください。

視聽報告書

[illegible]

後期:12月21日(日)16:30

のり付け（再提出の場合）

- 29

試験

前期試験と後期試験の2回、実施します。

試験の時間割、範囲、試験の要点など詳しいことは、学校通信「亀山通信」に掲載します。

(1) 受験資格(前期・後期とも)

合格しめきり日までに、レポート回数及びスクーリング時数をクリアしていること

- ・レポートが合格しめきり日の 16:30 までに合格していない場合は、いかなる理由があろうとも受験資格を得られません。
- ・合格しめきり時間間際にレポートを提出すると、万一「再提出」になった場合、当該講座の受験資格を失うことになります。余裕をもって提出するようにしましょう。

(2) 受験手続き

しめきり日までに **Google Forms** で受験手続きをすること

- ・受験資格を満たした科目については、送られてきた「**学習進捗状況**」にマーカーが引いてあります。

学習進捗状況

島根県立浜田高等学校(通信制課程)

年度	ルーム	生徒番号	氏名	進捗状況年月日

No.	講座名	単位数	必要回数	必要時数	レポート (●合格 ▲再提出 ▼添削中)	スクーリング (○出席 □視聴報告による認定)	備考
1	現代の国語(前)	1	3		●●●		
			2		○		
2	言語文化(前)	1	3		●●●		
			2		○		
3	地理総合(前)	1	3		●●●		
			2		○		

- ・「学習進捗状況」を見ながら、送られてきた「**受験時間割表**」に受験する科目を記入する。

受験時間割表

令和7年度 前期試験

亀山通信(時間割)を見て、受験時間割を作り、
Google Formsで受験手続きをしましょう。

ルーム	生徒番号	名前
〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇

生徒バースコード貼付欄

時程	1限	2限	3限	4限	5限	6限
①浜田 8/17 (日)	地歴・公民 数学 保健	国語 英語 情報Ⅰ・商業 体育	家庭 理科 芸術 体育	国語 英語 情報Ⅰ・商業 体育	地歴・公民 数学 保健	家庭 理科 芸術 体育
①大田 8/17 (日)	国語 英語 情報Ⅰ・商業	国語 英語 情報Ⅰ・商業	家庭 理科 保健	地歴・公民 数学 芸術	家庭 理科 芸術 体育	地歴・公民 数学 保健 体育
①益田 8/17 (日)	国語 英語 情報Ⅰ・商業	国語 英語 情報Ⅰ・商業	家庭 理科 保健	地歴・公民 数学 芸術	家庭 理科 芸術 体育	地歴・公民 数学 保健 体育

・Google Classroom (各自の HR) に配布された「受験手続きフォーム」から、受験する日付ごとに、会場、科目を入力して、受験手続きをしてください。

※g-mail に自分が送信した内容が送られてきます。正しく提出できているか確認してください。

※操作方法等がわからない場合は、浜田本校のパソコン教室でも手続きができます。

学校に問い合わせてください。

・しめきり日時以後の受験日等の変更はできません。

・受験できなかった場合は再試験を受験することができます。ただし、定められた期限までに「再試験受験願」の提出が必要です。また**受験会場は浜田本校のみ**となります。

(3) レポート合格しめきり日と受験手続きしめきり日

	前 期	後 期
レポ ー ト 合 格	令和7年 7月24日(木)	令和7年12月23日(火)
受 験 手 続 き	令和7年 8月 6日(水)	令和8年 1月 7日(水)

※「レポート合格」とは、「しめきり日の16:30までに合格していること」を意味します。

※「受験手続き」受付は、「しめきり日の16:30までに手続きを完了していること」を意味します。

直接、本校に来て手続きをする場合も、しめきり日の16:30までです。

(4) 受験上の注意

- ・試験は厳正な態度で受けること。
- ・生徒証を携帯すること。忘れた場合は、仮の生徒証を発行してもらうこと。
- ・机上には筆記用具のみ置くこと。
- ・レポート、教科書、学習書、ノート、筆箱、スマホ等の電子機器(電源オフ)、帽子、ひざ掛け等は、カバンに入れ、指定された場所に置くこと。机の中には何も入れないこと。
- ・試験開始5分前には着席すること。
- ・試験開始後5分以上遅刻した場合、受験できません。
- ・時間途中の退出はできません。
- ・不正行為と疑われるような行為をしないこと。

(5) 結果の通知

試験結果は、後日、本人に通知します。

(6) 追認試験

成績が認定基準に達しない場合には追認試験を行います。その場合は担任から連絡があります。

S6 特別活動(特活)

(1) 特別活動とは

高校での学習内容には、各教科の学習と特別活動の2つの柱があります。特別活動とは、学校行事・生徒会活動・ホームルーム活動など教科の学習を除く教育活動のことをいいます。

人間は常に社会の一員として生きていくもので、他人との関わりをなくしてしまうことはできません。特別活動は、見聞を広め、友人と交わり、集団で行動し生活する体験を通して、人間としてのよりよい生き方を身につけていくことを目的とした活動です。

卒業の条件として、特別活動に30単位時間以上参加する必要があります。

(2) 通信教育と特別活動

通信教育では、いろいろな理由で学習が進まなくなることがあります。そんなとき特別活動に参加して仲間と話し合ったり、スポーツを楽しむことで新しい意欲が生まれてくることがあります。

今までの卒業生の多くは、特別活動に参加して仲間をつくり、お互いに励ましあって卒業を迎えました。通信教育で学習する生徒にとって特別活動に参加することはとても大切なことです。

(3) 特別活動の種類

※ 学校通信(亀山通信)などでその都度案内します。

学 校 行 事

全校集会、入学式、卒業式、転退任式、健康診断、防災訓練、生活体験発表会、遠足、地域巡検など

ホームルーム(HR)

大掃除、進学説明会、就職説明会、企業・学校見学、受講手続き、プレスクーリング、先輩から学ぶ会、人権教育講演会 など

ショートホームルーム(SHR)

本S、火S、協Sで実施します。
本校は放課後、協力校は昼休み中に実施します。

生 徒 会 活 動

生徒総会、ボランティア活動、ジオラマ製作、定通体育大会
冬季集団研修、生徒会提案行事 など

令和7年度「特別活動」年間計画(P33~34)、学校行事の内容(P12~13)を参照してください。

令和7年度 通信制「特別活動」年間計画

令和7年4月現在

通信制教育では、卒業条件の一つとして、卒業までに「特別活動 30 単位時間以上の参加」が必要です。

内容、単位時間数を参考にして、参加計画をたてる目安にしてください。

学校行事の内容については、P12～13 を参照してください。

- 実施時間帯については、時間割に組み込んだり、放課後に実施したりする場合があります。
時間割や事前のお知らせを確認してください。
- この他にも、SHRに参加すると、「特別活動0.5時間」のカウントになります。

【前期】

期 日		場 所	内 容	参加対象者	時間数	HR活動	生徒会活動	学校行事
4月	13日(日)	浜田高校	在校生受講手続き	在校生全員	1	○		
	20日(日)	浜田高校	入学式	前期入学生	1			○
	27日(日)	浜田高校	全校集会・レポート配布	全員	1.5			○
	30日(水)	浜田高校	プレスクーリング	前期入学生 ・希望者	最大 3	○		
5月	1日(木)	大田・益田	プレスクーリング	前期入学生 ・希望者	最大 3	○		
	13日(火)	浜田高校	情報モラル教育講演会	希望者	1	○		
	20日(火)	浜田高校	生徒総会	全員	1		○	
	27日(火)	浜田高校	進学説明会	進学希望者	1	○		
	27日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座①	卒業予定生 ・希望者	1	○		
	29日(木)	未定	遠足	希望者	6			○
6月	3日(火)	浜田高校	公社健康診断	全員	2			○
	7日(土)	央道高校	県定通体育大会	希望者	6		○	
	10日(火)	浜田高校	心と体の健康講座①	希望者	1			○
	10日(火)	浜田高校	避難訓練	全員	1			○
	11日(水)	大田・江津	第1回企業・学校見学	卒業予定生 ・希望者	6	○		
	17日(火)	浜田高校	校医検診	全員	1			○
	24日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座②	卒業予定生 ・希望者	1	○		
	24日(火)	浜田高校	就職説明会	就職希望者	1	○		
7月	1日(火)	浜田高校	生徒会提案行事	希望者	2		○	
	8日(火)	浜田高校	HR「進路探究①」	進学希望者	1	○		
	16日(水)	浜田高校	進路ガイダンス	通信制希望者	2	○		
	20日(日)	浜田	前期末大そうじ	希望者	1	○		
	20日(日)	大田・益田	前期末大そうじ	希望者	0.5	○		
7月	上旬 又は下旬	未定	全国定通体育大会 (県代表者) <競技ごとの日程により 2泊3日～3泊4日程度>	県代表選手	1日 あたり 6		○	
8月	上旬	浜田高校	全国高等学校 鉄道模型コンテスト	希望者	2		○	
5・6・7・10月		大田・益田・浜田	地域巡検	探究の時間 受講者・希望者	探究5 希望6			○

【後期】

期 日		場 所	内 容	参加対象者	時間数	HR活動	生徒会活動	学校行事
9月	2日(火)	浜田高校	着こなし講座	卒業予定生・希望者	2	○		
10月	1日(水)	浜田高校	入学式	後期入学生	1			○
	5日(日)	浜田高校	全校集会・レポート配布	全員	1.5			○
	7日(火)	宍道高校	県生活体験発表大会	代表者2名	6			○
	7日(火)	浜田高校	プレスクーリング	後期入学生・希望者	最大3	○		
	8日(水)	大田・益田	プレスクーリング	後期入学生・希望者	最大3	○		
	14日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座③	希望者	1	○		
	19日(日)	浜田高校	防災学習	希望者	1			○
	21日(火)	浜田高校	定通スポーツ大会	通信制希望者(定時制昼間部)	2	○		
	26日(日)	益田高校	防災学習	希望者	0.5			○
	28日(火)	浜田高校	心と体の健康講座②	希望者	1			○
11月	2日(日)	大田高校	防災学習	希望者	0.5			○
	5日(水)	浜田・益田	企業・学校見学②	希望者	6	○		
	5日(水)	浜田高校	就職ガイダンス	通信制希望者(定時制昼間部)	2	○		
	11日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座④	希望者	1	○		
	16日(日)	浜田高校	先輩から学ぶ会	希望者	1	○		
	18日(火)	浜田高校	心と体の健康講座③	希望者	1			○
	25日(火)	浜田高校	HR「進路探究②」	希望者	1	○		
	27日(木)	浜田高校	生徒会提案行事「(仮)通信制感謝祭」	希望者	2		○	
12月	2日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座⑤	希望者	1	○		
	4日(木)	浜田高校	心と体の健康講座④	希望者	1			○
	9日(火)	浜田高校	人権教育講演会	希望者	1	○		
	10日(水)	浜田高校	進路ガイダンス	通信制希望者(定時制昼間部)	2	○		
	14日(日)	浜田	後期末大掃除	希望者	1	○		
		大田・益田	後期末大掃除	希望者	0.5	○		
2月	13日(金)	県立少年自然の家	冬季集団研修	希望者	4		○	
	17日(火)	浜田高校	生徒総会・在校生授賞式	在校生全員	1		○	
	28日(土)	浜田高校	卒業生授賞式	卒業生希望者	1			○
3月	15日(日)	浜田	在校生受講指導	在校生全員	1	○		
	15日(日)	大田・益田	在校生受講指導	在校生全員	1	○		
	24日(火)	浜田高校	転退任式	在校生希望者	1			○

- ①遠足や生徒会提案行事など、内容詳細が未定のところがあり、カウント数や内容等が変わる可能性があります。その都度、案内を確認してください。
- ②生徒会執行部の提案や行事の追加などにより、特別活動が追加される可能性があります。できるだけ早めにお知らせします。
- ③「総合的な探究の時間」の出席にカウントできる進路行事があります。詳しくは第1回のレポート(最終ページの年間計画)を見てください。
- ④協力校で実施できないものもありますが、協力校の皆さんもできるだけ都合をつけて本校(浜田高校)の行事にも積極的に参加しましょう。

§7 学校生活の心得 外

学校生活のルール・マナー

充実した学校生活を送り、学習環境を良くするために、次のことを守りましょう。

(1) 登校した時

- ①生徒証を携帯する。
- ②出校表に氏名・生徒番号と体調、その日の予定を必ず記入する。
- ③通信制掲示板の伝達事項を確認する。
- ④SHRには、できる限り出席し、今後の予定等を確認する。

(2) スクーリング

- ①チャイムは鳴らないので、時間は各自で確認して行動する。
- ②携帯電話、スマートフォン等の電子機器は、電源を切って出席する。
- ③合計で5分を超える遅刻・中座・早退の場合は出席扱いになりません。

(3) 校内生活一般について

- ①勉学の場にふさわしい服装・頭髪を心がけ、良識ある言動をする。
- ②集会や印刷物の掲示・発行・署名活動・募金活動を行う場合は、届け出て承認を得る。
- ③使用した教室・場所は、責任を持って整理・整頓をする。
- ④更衣室・ロッカーに私物を置いたまま下校しないこと。ロッカーは出校日のみ利用できる。
放置された私物の紛失・破損については学校は一切責任を負いません。
- ⑤教室では飲食をしない。昼食は指定された場所です。持ち込んだゴミは各自で持ち帰る。
- ⑥自転車・オートバイ・自動車で通学する者は、指定された場所に駐輪・駐車する。
- ⑦学校敷地内はすべて禁酒・禁煙。違反した場合は、成人であっても懲戒処分の対象となる。

(4) 所持品について

- ①私物は自己責任で管理する。
- ②貴重品以外はロッカーを利用する。

(5) 校外での生活について

- ①交通ルールを守り、事故の無いように心がける。
- ②やむを得ず長期間にわたって欠席する場合は、ルーム担任まで連絡する。
- ③犯罪などに巻き込まれた場合は、ルーム担任まで連絡する。
- ④アルバイトなど仕事を始めたり、職場や住所が変更になったりした場合にはルーム担任に書類を提出する。
- ⑤校舎内外にかかわらず、スマートフォン等通信端末機器の使用は公共のマナーを守り、利便性と危険性を理解して使用する。

図書学習室の利用

読書のための利用だけでなく、出校時の自習の場として、図書学習室を利用する機会が多いと思います。ルールやマナーを守り、みんなで気持ち良く図書学習室を利用しましょう。

図書学習室を利用する際には、次の各事項を必ず守ってください。

- (1) 図書を借りる場合は、受付カウンターにある案内に従って自分で貸し出し手続きをしてください。
借りることのできる図書は3冊まで、貸出期間は2週間です。
- (2) 返却する際には、受付カウンターの返却箱に返却してください。
- (3) 購入希望図書があれば、教員に申し出てください。
- (4) 室内では静粛を心がけ、他の人に迷惑にならないようにしましょう。
- (5) 携帯電話(スマホ)等の電子機器は使用禁止です。
調べ学習等で使用する場合は教員に申し出てください。
- (6) 飲食は厳禁です。

進路指導室の利用

進路指導室は、皆さんが将来を考えるときにサポートをするための部屋です。

ここで資料を調べたり、担当の先生に相談をしたりすることができます。

利用するにあたっては静かに閲覧する、飲食はしないなどマナーを守ってください。また、使用したいときは、進路指導の先生や担任の先生に申し出てください。

※常設のパソコンも1台あります。大学情報の検索や就職求人票の閲覧等に利用できます。

※図書学習室にも進路コーナーがあります。

保健室の利用

保健室は、皆さんが健康な学校生活を送れるよう支援するところです。

全員にとって利用しやすい環境であるよう以下の点に留意してください。

- (1) 登校前に体調が悪いときは、無理をして登校せず、自宅で療養するか、医療機関で受診してください。
- (2) 授業中に体調が悪くなったときは、授業担当の先生に申し出て許可を得てから来室してください。
- (3) 保健室での処置は、けがや体調不良に対しての一時的な応急処置です。必要に応じて医療機関で受診してください。

スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、 教育相談員への相談

カウンセリングでは、皆さんの悩みや不安について傾聴するとともに問題解決のための過程を支援していきます。悩みや不安はひとりで抱え込まず、まずは相談してみてください。

- ①本人、保護者の相談が可能です。
- ②相談は原則として予約制です。希望者は、担任の先生か保健室へ連絡してください。
- ③あなたの話した内容をあなたの許可なく他者に伝えることはありません。

スクールカウンセラー(SC)

心理に関する高度な専門的知見を有し、生徒及びその保護者、教職員への支援に係る助言・援助等を行う。

スクールソーシャルワーカー(SSW)

福祉に関する専門性を有し、生徒のQOL(生活の質)の向上のため生徒が置かれた環境に働きかけ等を行う。

教育相談員

心身の健康に対する専門性を有し、生徒及びその保護者の相談内容に教職員と連携し対応・行動する。

通学方法(通学に関する規定)

本校スクーリングにおいては、車両(自転車、原動機付自転車、自動二輪車、自動四輪車)を使用しての通学を希望する人は、ルーム担任に申し出て、下記の要領で申請してください。

車両通行証を発行しますので、厳守事項を確認して、事故の無いように心がけてください。

<申請手続き>

- ①「**通学車両申請書**」(本校指定書式)
- ②「**運転免許証**」の写し(自転車以外の車両)
- ③「**自賠責保険証明書**」・「**任意保険証明書**」の写し(自転車以外の車両)
- ④ 自動四輪車については、「**車検証**」の写し

<厳守事項>

- ①申請を認可された生徒は、定時制・通信制校舎の駐車場・駐輪場に駐車・駐輪しましょう。
- ②「**車両通行証**」は以下のようにしてください。
 - 自動四輪車…ダッシュボード上で、外部から視認できる位置に置く。
 - 自転車・自動二輪車・原動機付き自転車…登校時に携行する。
- ③校地内は徐行(時速20km以下)し、騒音を出してはいけません。
- ④指定の通行経路を通行しましょう。(P46参照)
- ⑤グラウンド側通学路(桜並木)は自転車・歩行者専用のため車両は通行禁止です。
- ⑥その他上記事項に違反した場合は、「**車両通行証**」を返していただきます。
- ⑦万一不測の事態が起きても学校は一切責任を負いません。
- ⑧通学に使用する車両を変更したときは、その都度必要書類を提出してください。

学校感染症による出席停止（出校停止）

学校は生徒が集団で過ごす場であり、そこで発生する感染症の流行を予防することは、望ましい学習環境を維持するために大切です。

体調不良を感じるような場合は、早めの医療機関への受診をお願いします。

また、下記の表は主な感染症と学校保健安全法で定められている出席停止の期間です。医師の指示及び下記の表に従い、自宅での十分な療養をお願いします。

〈感染症および出席停止の期間〉

病 名	出 席 停 止 期 間
新型コロナウイルス感染症	治癒するまで
インフルエンザ (特定鳥インフルエンザを除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱後3日を経過するまで
風しん（三日ばしか）	発疹が消失するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	医師が感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染のおそれがないと認めるまで

独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度は、学校の管理下において生徒が災害（負傷、疾病、傷害又は死亡）に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者等に対して行う制度で、原則全員が加入します。

（1）給付の種類と給付される場合

学校の管理下で生じた事由による負傷や疾病の医療費、これらの負傷又は疾病が治った後に傷害が残ったときの傷害見舞金及び負傷又は疾病に直接起因する死亡に対する死亡見舞金が給付されます。

なお、学校の管理下とは、次の場合をいいます。

①授業中	③始業前、休み時間、放課後
②課外指導中（学校行事、生徒会活動等）	④通常の経路及び方法による通学中

（2）共済掛金（年額）

保護者等負担額 220円 ※掛金は、入学にあたって納めていただいた学校徴収金から支払います。

感染症にかかったときや、災害共済給付の対象となる負傷や疾病が生じたときには、担任又は保健室にご連絡ください。

§8 通信制の学習及び生活 Q&A

<レポートについて>

Q1: レポートはいつもらえますか?

A1: 前期・後期ともに初回配布は全校集会時です。その後2回に分けて郵送します。(P17~18参照)

Q2: レポートの合格点はどのくらいですか?わからないところがあったら、どうしたらいいですか?

A2: レポートは教科書、学習書をよく読み、自学自習をして作成します。観点別評価B以上を目標に取り組みましょう。わからないところは、スクーリング等で教科担当に質問して完成させてから提出しましょう。空欄のまま提出すると、採点されずに返却されます。提出後、間違った箇所は、先生からのヒント等を参考に直しておきましょう(P16参照)。

Q3: レポートの解答がわからない場合、解答欄に「わかりません」と書いてもいいですか?

A3: 空欄とみなされて「再提出」になります。わからないところは、スクーリング等で質問し、解答を記入しましょう。「わかりません」以外でも、問題文の指示通りに解答されていない場合は、「再提出」になります。

Q4: 完成したレポートはどうすればいいですか?

A4: 本校では職員室前の「提出BOX」に入れてください。協力校では、浜田高校通信制の先生に渡します。郵送する場合は、「通信教育」用の封筒を使うと安価で送れます。2021年10月以降、土曜日配達休止等の郵便事情により配達日が以前より遅くなることがあります。提出しめきり日を確認して、計画的に提出しましょう(P16~18参照)。

Q5: 同じ講座のレポートを複数回まとめて提出してもよいですか?

A5: はい、受け付けます。ただし、手元にレポートがない場合はスクーリングに出席できませんので注意してください。また、1日各講座1回分の合格しか認められません。合格日は別日となります。

Q6: 提出しめきり日を過ぎてからもレポートは出せますか?

A6: はい。前期末・後期末の合格しめきり日まで出せます。ただし、1日各講座1回分の合格のみ認めています。提出しめきり日までに合格できるように余裕をもって提出するようにしましょう。

Q7: レポートを提出中や全て合格した後でも、スクーリングに出席できますか?

A7: はい。ただし、提出中でレポートが手元にない場合は、スクーリングに出席することはできません。合格したレポートを持って、スクーリングに出席することはできます。スクーリング中はレポートの復習をしましょう。

Q8: 「提出しめきり日」までにレポートは合格しなければならないのですか?

A8: いいえ。ただし、各回レポートの提出しめきり日を過ぎて提出すると減点されます。前期・後期レポート合格しめきり日までに合格するようにしてください。

Q9: レポートの採点はどのようになりますか。

A9: P16の「レポート採点方法と合格について」を見てください。

Q10: 再提出になったレポートは、どうしたらよいですか?

A10: 「再」と書かれて返却されたレポートは、できるだけ早く見直して提出してください。

<スクーリングについて>

Q11: スクーリングは、いつありますか？遅刻したら、欠席ですか？

A11: 日曜日に実施しています。浜田高校は火曜日にも実施しています。年間行事予定(P10~11)で確認しましょう。スクーリングでは、5分以上の遅刻は出席になりません。なお、合計5分を超える遅刻・中座・早退も出席になりませんので、注意してください。

Q12: スクーリングに、持っていくものはなんですか？服装や座席は決まっていますか？

A12: 持っていくものは、教科書、学習書、レポート、筆記用具、生徒証、生徒用バーコードシール(P20参照)です。服装は、勉学の場にふさわしい服装であれば自由です。浜田高校定通校舎は、下足のままで入れます。協力校では備えつけのスリッパに履き替えてください。座席は自由です。

Q13: 「本S」「協S」「火S」とは何ですか？

A13: 「本S」は本校スクーリング、「協S」は協力校スクーリング、「火S」は火曜スクーリングの略称です。(P20参照)

Q14: 協力校スクーリングはどこでやっていますか？

A14: 令和7年度は、大田は大田高校、益田は益田高校で日曜日に実施します。

Q15: 時間割はいつごろわかりますか？

A15: 4月末の前期全校集会、10月初めの後期全校集会で配布される学校通信「亀山通信」とホームページに時間割が掲載されます。

Q16: 協力校の生徒が、本校(浜田高校)へ行かなければならないことがありますか？

A16: 受講手続き、前期全校集会、健康診断、校医検診、後期全校集会は、本校で行います。また、入学式(通信制入学生のみ)、同窓会入会式(全定通卒業生)、卒業式(全定通卒業生・在校生)は本校で行います。特別活動は、本校で実施されることが多いです。(P10~11、33~34参照)

Q17: 特別活動とはなんですか？

A17: ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などの活動のことです。卒業するまでに30時間以上の参加が必要です。(P33~34参照)

<試験について>

Q18: 試験を受けるには、どうすればいいですか？試験の範囲はいつわかりますか？

A18: 講座ごとに設けられたレポートおよびスクーリングの規定の回数を満たした場合に試験を受けます。受験資格のある生徒にはレポート合格しめきり日以降に「受験手続き書類」が送付されます。受験日を決め、Google Forms で期限までに手続き (P30~31 参照) してください。試験の範囲は前期・後期それぞれ取り組んだレポートです。

<放送視聴学習について>

Q19: Eテレの番組を見たら、スクーリングを受けたことになるのですか？

A19: 視聴するだけではスクーリングを受けたことにはなりません。NHK高校講座を視聴して「視聴報告書」を提出し、合格することでスクーリング時間が一部免除になる講座があります。すべてではないので注意してください (P25~26 参照)。

<単位の認定について>

Q20: 単位が認定される時期はいつですか？

A20: レポートの規定回数・スクーリングの規定時間数を満たし、試験を受け、それらの総合評価が十分であると会議で認められた場合に単位が認定されます。前期末、後期末にそれぞれの単位が認定されます (P3~4 参照)。

Q21: 学校で申し込める検定試験がありますか？

A21: 漢字検定や英語検定等を案内しますが、申し込みは各自で行ってください。募集案内は、4月の学校通信「亀山通信」を見てください。

Q22: 受講する講座は、自分で決めることはできますか？前期に決めた講座を後期に変更することは可能ですか？

A22: 受講する講座は進路のことも考えながら、ルーム担任と相談し、自分で決めます。(P7 参照)。前期に決めた講座を後期に変更することはできません。

Q23: 卒業するにはどうしたらいいですか？

A23: 卒業要件 (①在籍年数が3年以上 (新入生)、②必修科目を履修し、74単位以上の修得、③特別活動30単位時間以上の出席) を満たし、卒業認定会議で認められると卒業できます (P3~4 参照)。

Q24: 休学はありますか？

A24: 在籍はしているが、学習活動をしていない「非活動」(1年単位) という仕組みがあります。ただし、翌年度に活動を再開するためには、手続きが必要です。

<学校生活について>

Q25: 学校は、いつあいていますか？

A25: 通信制の教員の勤務は、原則日曜日から木曜日の8:25~16:55です。休日等は、年間行事予定(P10~11参照)をご覧ください。電話で問い合わせてください。

Q26: ルーム活動はありますか？

A26: 浜田の本校はスクーリング日の放課後、大田・益田の協力校はスクーリング日の4限と5限の間にSHRがあります。主に、提出物や今後の予定等を確認します。学校からの連絡は、文書やGoogle Classroomが中心です。分からないことや不安なことは、まずルーム担任の先生に相談しましょう。

Q27: バイクや自動車でも来てもいいですか？アルバイトは学校の許可が必要ですか。

A27: 車両通学を希望する人は申請手続きをして、車両通行証を携行してください。アルバイトに学校の許可は必要ありませんが、仕事を始めた時や職場が変わった時にはルーム担任に連絡をしてください(P37参照)。

Q28: 昼食を食べるところはありますか？

A28: 浜田の本校は、生徒会室、1R教室で、協力校では、生徒控室で食事をする事ができます。

Q29: 「亀山賞」ってなんですか？

A29: 検定に合格した生徒や、学業と仕事の両立をさせて1年間がんばった生徒に贈られるものです。年度末の授賞式で贈呈されます。

Q30: 全国レベルの交流などがありますか？

A30: 定時制通信制体育大会や生活体験発表会があります。島根県大会を経て出場となります。詳細は期日が近づいたところで、担当の先生から案内があります。

Q31: 学校からのお知らせは、郵送や電話だけですか？

A31: 学校通信「亀山通信」が年5回発行されます。ホームページには、行事や特別活動など学校生活の様子や前期・後期のスクーリングの時間割や試験の時間割が掲載されます。各教科の連絡や特別活動の申込み等Google Classroom(グーグルクラスルーム)を利用しています。台風や大雪時などの緊急的な連絡は、メール配信アプリでお知らせします

<費用について>

Q32: 1年間にどのくらいのお金が必要ですか？

A32: 単位あたり受講料が330円、教科書代(初年度24単位)が約5,000円から25,000円程度(受講登録する科目により個人ごとに異なります)です。その他、学校徴収金(PTA等諸会費)が約18,000円程度必要です。教科書・学習書代は、条件(学業と仕事を両立している等)を満たしていて、申請し認められれば給与されます。また、(JR乗車券の割引、回数券の購入に必要な)学割証も利用できます(P43参照)。

§9 通信制課程生徒への教育費助成等

(1) レポートの郵送

- ①通信教育の教材は、第4種郵便物として扱われ、通信教育用封筒を利用すれば郵便料金が一般の郵便物よりも安くなるように配慮されています。

【第四種郵便】

100gまでは15円

100gを超えるときは、100g増すごとに10円加算

- ②通信教育の教材とは、レポートや学習についての質問事項及び学習上の作品などです。
それ以外の個人的な手紙や事務上の関係書類は、一般の郵便物として扱われますから注意してください。
- ③郵便物には、住所・氏名・生徒番号を明記すること。
封筒にはもちろん、通信文や質問など中に入れる用紙にも必ずルーム・生徒番号・氏名を記入してください。

(2) 教科書・学習書代金

一定の条件を満たした者が申請し認定された場合、教科書・学習書が給与される制度があります。

(3) 奨学金制度（※金額等はいずれも令和6年度のもの）

○島根県育英会高等学校等奨学資金

自宅通学生：月額 18,000円 自宅外通学生：月額 23,000円

<応募資格>

島根県出身の生徒等であって、学習意欲が旺盛でありながら経済的な理由により修学することが困難な者。

○その他の奨学金

定時制・通信制の生徒を対象とする様々な奨学金があります。また、進学希望者のための予約奨学金制度もあります。（詳細については奨学金担当者にお問い合わせください。）

(4) 学 割 証

①乗車券割引（JR）

営業距離が片道101km以上ある場合に20%の割引があります。進学・就職のための受験などの場合に利用できます。

②回数券割引（JR） ※スクーリング等に出席する目的以外には使用できません

スクーリング等に出席するために利用する場合、回数券を5割引で購入できます。これは、通信教育生 のみに認められたものです。

(5) 勤労学生控除

納税者自身が勤労学生である場合、一定額の所得控除を受けることができます。
詳しいことは、職場や税務署にお問い合わせください。

§10 事務的な手続き

(1) 学校への連絡

- ア 次のような変更・異動があった場合は、必ず学校へ届け出なければなりません。
- (ア) 休学後復学するとき（「非活動生」から「活動生」となるとき）
 - (イ) 学修活動を休止するとき（「非活動生」となるとき）
- イ 次の場合は、速やかに所定の様式により、「願」または「届」を提出しなければなりません。
- (ア) 転学するとき（転学願）
 - (イ) 退学するとき（退学願）
 - (ウ) 住所・氏名・電話番号に変更があったとき（「住所・氏名・連絡先 変更届」を提出）
※保護者の住所・姓・電話番号に変更がある場合も、担任に連絡してください。
 - (エ) 仕事を始めたとき、職場が変わるとき

(2) 生徒証

- ア 入学時に写真を撮り作成します。交付料「200円」は、特別活動費から支出します。
- イ 有効期限は「10年」です。在学中は大切に所持してください。
- ウ 卒業または退学等で籍がなくなるときは、学校への返却が必要です。
- エ 再交付が必要な場合は、「再交付願」を提出してください。
- ・紛失または破損した場合は、再交付手数料は「500円」です。
 - ・住所、姓が変わった場合は、無償で再交付します。
- オ 登校時には、必ず携行し、スクーリング及び試験に出席してください。

(3) 各種証明書の交付

- ア 下表の証明書の交付を受けたいときは「申請書」または「申込書」を提出しなければなりません。
- イ 「申請書」、「申込書」は職員室窓口にあります。

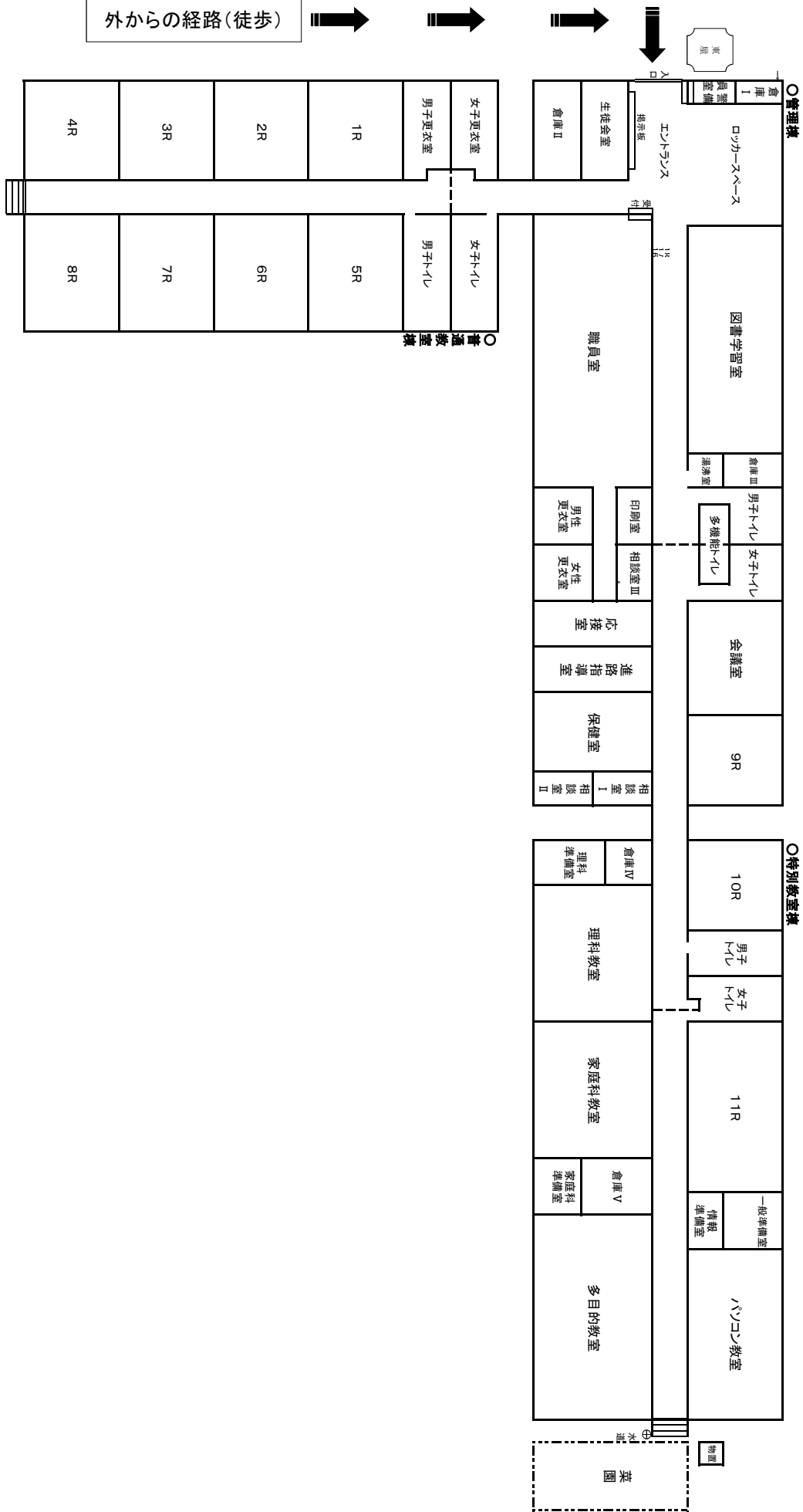
申請書、申込書	備 考
在 学 証 明 書	・事務へ依頼してください。
学 割 証	・ルーム担任の先生の確認印をもらってから、事務へ依頼してください。
学 業 成 績 証 明 書	・ルーム担任の先生へ依頼してください。
単 位 修 得 証 明 書	
調 査 書	
卒 業 見 込 証 明 書	・事務へ依頼してください。
卒 業 証 明 書	

※成績証明書・単位修得証明書・調査書・卒業証明書の交付申請書は、ホームページからもダウンロードできます。

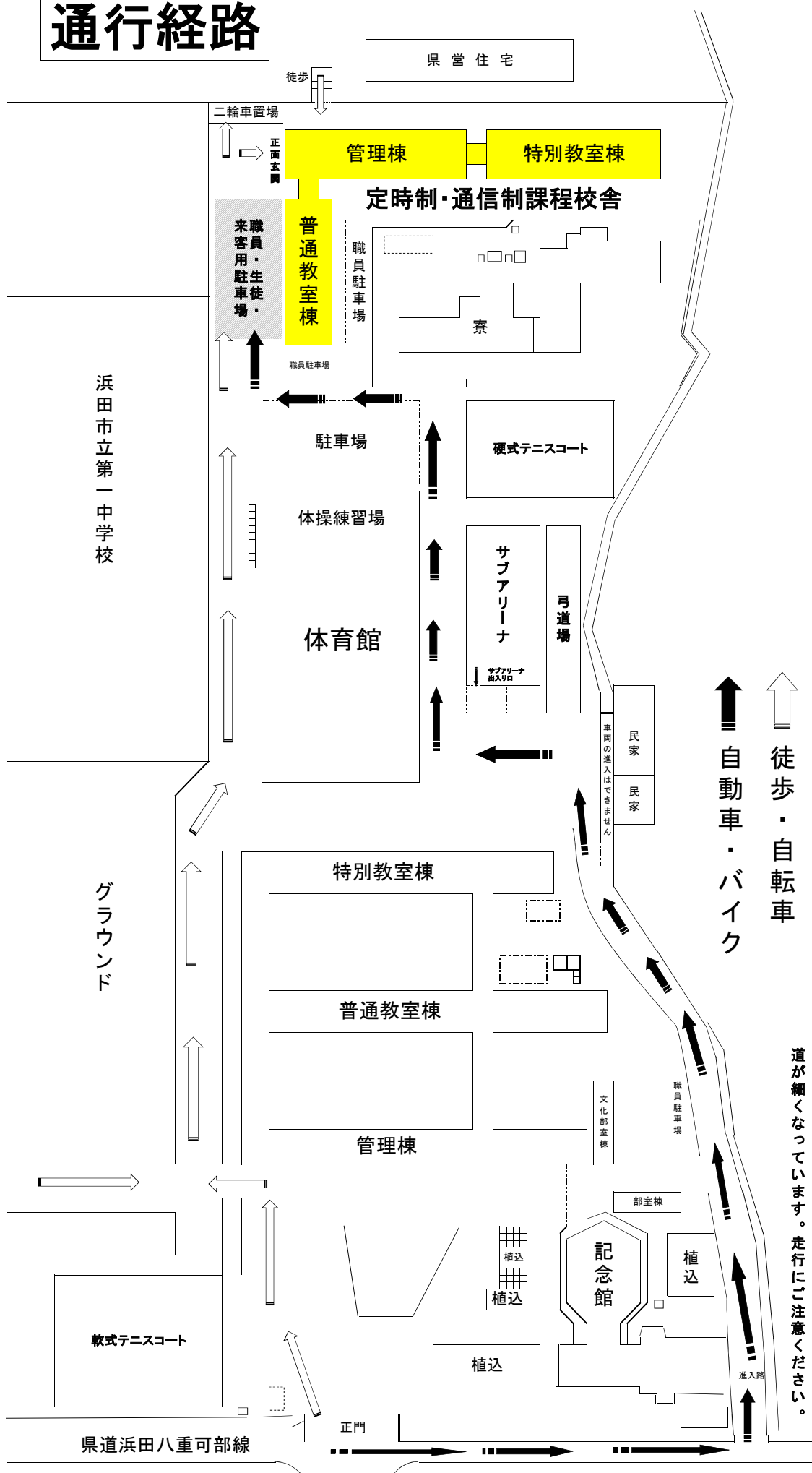
- ウ 在校生は無料です。（卒業生は有料です。） ※卒業した年の3月31日（消印有効）までは無料です。
- 各種証明書は、原則、即日交付はできません。
 - 郵送による申請の場合は、返信用封筒（あて先記載）・返信用切手が必要です。

校 舎 配 置 図

外からの経路(徒歩)



通行経路



校 長	副校長	保健部	教務部	事 務	担 任

住所・氏名・連絡先 変更届（通信制課程）

令和 年 月 日

島根県立浜田高等学校長 様

ルーム名

生 徒 氏 名

保護者 氏 名

（生徒が未成年の場合）

下記のとおり、 $\left\{ \begin{array}{ll} \square \text{生 徒} & \square \text{氏 名} \\ & \square \text{住 所} \\ \square \text{保護者} & \square \text{連絡先} \end{array} \right\}$ が変更となりましたので、届け出ます。

※該当に☒ をしてください。

記

1 変更となった日： 令和 年 月 日

2 理 由： （

3 氏 名：旧（ ） → ^{ふりがな}新（ ）

4 住 所：旧 $\left(\begin{array}{l} 〒 \\ \end{array} \right)$

新 $\left(\begin{array}{l} 〒 \\ \end{array} \right)$

5 連 絡 先： 電話番号（ ）

システム 入 力	日 付	担当者	生 徒 カード 記 入	日 付	担当者	生徒証 発 行	日 付	担当者
	月 日			月 日			月 日	